

志摩市まちづくりアンケート 調査結果分析

新たな総合計画の策定に向けて、市民の皆様の貴重なご意見を把握するため、令和7年2月から3月に実施した「まちづくりアンケート」（市内在住18歳以上対象、有効回収数1,155件、回収率38.5%）の結果についてご報告します。

1. 市民の幸福感と志摩市への愛着・定住意向

市民の幸福度は平均6.55点（10点満点）。多くの方が日々の生活に一定の幸福感を感じています。幸福感を判断する上で重視する点は「家族関係」（67.6%）、「健康状態」（63.5%）が突出して高く、次いで「所得・収入」（33.1%）でした。

志摩市への愛着や誇りについては、「感じる」「どちらかというと感じる」を合わせると約68%の方が愛着を抱いており、多くの方が志摩市を好意的に捉えています。志摩市の魅力として最も多く挙げられたのは「豊かな自然・景観」（67.7%）、次いで「恵まれた食」（15.7%）でした。

現在の志摩市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」「どちらかという暮らしやすい」と肯定的な評価が約半数（49.4%）である一方、「どちらともいえない」（27.9%）や不満を感じる層も存在します。

定住意向については、「今の場所に住み続けたい」が56.5%と過半数を占めるものの、約27%が市内・市外への移動の意向があり、主な理由として「公共交通の便が悪い」（58.6%）、「日常の買い物が不便」（45.6%）、「災害時への不安」（42.1%）が挙げられました。

2. 市政への満足度と今後の重要課題

市民が今後特に重要だと考えている取り組みは、「地域医療、救急医療体制の充実」（39.0%）が最も高く、次いで「自然環境の保護・再生」（36.6%）、「鉄道、バス、航路等の公共交通の充実」（33.9%）、「空家の取り壊しや利活用など空家等対策の推進」（33.6%）、「地域防災力向上や避難環境整備等の防災対策」（33.3%）と続きます。

一方で、これらの重要度が高い項目に対する現在の満足度は低い傾向にあり、特に「地域医療、救急医療体制の充実」（満足度偏差値36.35）、「産業創出や企業誘致等による雇用の場の確保」（同24.28）、「鉄道、バス、航路等の公共交通の充実」（同24.33）、「空家の取り壊しや利活用など空家等対策の推進」（同19.80）、「移住・定住の促進による人口減少抑制」（同32.16）は、重点的に改善が求められる分野として明確に示されました。

3. 人口減少・少子高齢化への対応と将来のまちの姿

若者が住み、子どもを産み育てられるまちをつくるために市が優先して取り組むべき対策は、「若者の働く場をつくる」（1 番目に重要と回答した人が 45.5%）と「子育てしやすい環境をつくる」（同 41.0%）が特に重視されています。

4. 防災、SDGs、デジタル化、情報発信について

防災対策では、個人による食料・飲料水の備蓄（64.8%）は進んでいますが、家具の固定（23.7%）や近隣との協力体制（12.2%）などはまだ低い状況です。行政に重点的に取り組んでほしい対策としては、「食料・生活用品等の公的備蓄品の拡充」（50.9%）、「医療・救護体制の充実」（34.6%）、「避難所の整備」（31.9%）が上位でした。

SDGs については、「言葉も内容も大体知っている」が 59.2%ですが、「言葉は聞いたことはあるが内容はわからない」「言葉も内容もわからない」を合わせると約 38%となり、さらなる理解促進が必要です。

行政のデジタル化については、手続きのオンライン化に約 56%が利用意向を示す一方、約 23%が否定的な意見を持っており、デジタルに不慣れな方への支援（1 番目に重要と回答した人が 26.3%）も強く求められています。

市からの情報入手手段は、「広報しま」（1 番目に多く得ていると感じる人が 63.3%）が依然として中心的ですが、「自治会の回覧板」や「家族・知人からの話」も重要な役割を担っています。スマートフォンの利用率は約 88%と高いものの、市の LINE 公式アカウントの認知度は約 44%にとどまっています。

5. まとめ

今回のアンケート結果は、市民の皆さんが志摩市の現状をどのように捉え、未来に何を期待しているかを示す貴重な羅針盤です。この調査結果では、新たな総合計画において以下の3つの視点を重視することを示唆しています。

① 生活基盤の強化による「安心・安全・安定」した暮らしの実現

- 医療・福祉サービスの再構築とアクセス改善を検討する。市民の強いニーズに応え、安心できる地域医療体制を目指す。
- 雇用機会の創出と生活利便性の向上に注力する。若者定住の鍵となる「働く場の確保」や、日常生活に不可欠な公共交通・買い物環境の改善を図る。
- 実践的な防災・減災対策を推進する。公的備蓄の拡充とともに、地域と連携したソフト・ハード両面からの備えを強化する。

② 地域資源を活かした「持続可能で魅力ある」まちの創造

- 自然・食・文化を活かした地域経済循環の促進を図る。市民が誇る資源を、心の豊かさと経済活性化につなげる。
- 空き家問題への戦略的取組と生活環境の向上を目指す。課題である空き家を地域資源として捉え直し、活用を促進する。
- 未来への投資としての「子育て・教育環境」を充実させる。次世代育成への期待に応え、安心して子どもを育てられる環境を整備する。

③ 市民ニーズに応える「信頼される行政運営」と「効果的な情報戦略」

- デジタル化推進と情報格差解消の両立を図る。利便性向上と、誰一人取り残さない支援のバランスを追求する。
- 多様な世代に届く情報発信とコミュニケーションの強化に取り組む。主要な情報源である広報紙を維持しつつ、デジタル媒体の活用を最適化する。

新しい志摩市総合計画策定のための
まちづくりアンケート調査
報告書（概要）



令和7年5月
志摩市政策推進部総合政策課

目 次

1 調査の概要

1.1 調査の目的	1
1.2 調査の方法	1
1.3 回収結果	1
1.4 報告書の見方	1

2 調査の分析

2.1 日ごろ感じている幸福感について	2
2.2 志摩市への愛着・定住意向について	7
2.3 市政に対する満足度と重要度について	14
2.4 人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりについて	22
2.5 災害から生命・財産・まちを守る防災・減災について	31
2.6 「SDGs（エスディーゼーズ）」の取り組みについて	35
2.7 行政のデジタル化について	37
2.8 市からの広報手段について	43
2.9 志摩市のまちづくり全般へのご意見について	51
2.10 あなたご自身のことについて	54

調査の概要

1.1 調査の目的

新たな志摩市総合計画の策定に向け、市がこれまで取り組んできた施策の効果検証や、市民の意識・意見を把握するアンケート調査（幸福度調査の項目を含む）を実施。

1.2 調査の方法

- (1)調査名称 : 新しい志摩市総合計画策定のための「まちづくりアンケート調査」
- (2)調査対象 : 志摩市全域
- (3)標本数 : 3,000人
- (4)抽出方法 : 住民基本台帳から無作為に抽出
- (5)調査方法 : 郵送送付・郵送回収及びインターネット回答調査
- (6)調査実施期間 : 令和7年2月10日～3月3日
- (7)調査実施機関 : 志摩市 政策推進部 総合政策課

1.3 回収結果

有効回収数 : 1,155件（郵送回収：806 件、インターネット回答：349 件）

有効回収率 : 38.5%

地区別回収結果

居住地	配布数	回収数	回収率
浜島町	237	89	37.6%
大王町	352	128	36.4%
志摩町	554	207	37.4%
阿児町	1,417	482	34.0%
磯部町	440	160	36.4%
不明・無回答	—	89	—
合計	3,000	1,155	38.5%

1.4 報告書の見方

- (1)集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2)2つ以上の回答（複数回答）を要する質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3)図表中に表す「N」は比率算出上の基数（標本数）である。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で標記している。
- (4)自由記述の集計においては、1つの意見に複数の内容が記述してある場合、それぞれの項目でカウントしている。

調査の分析

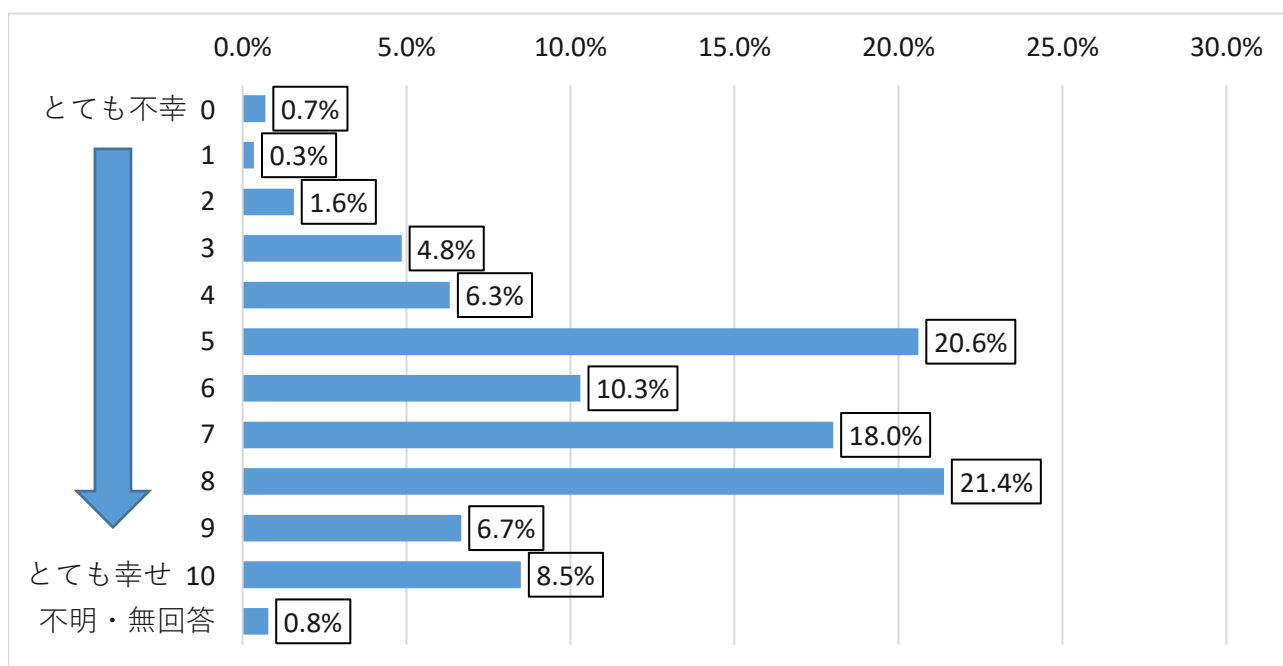
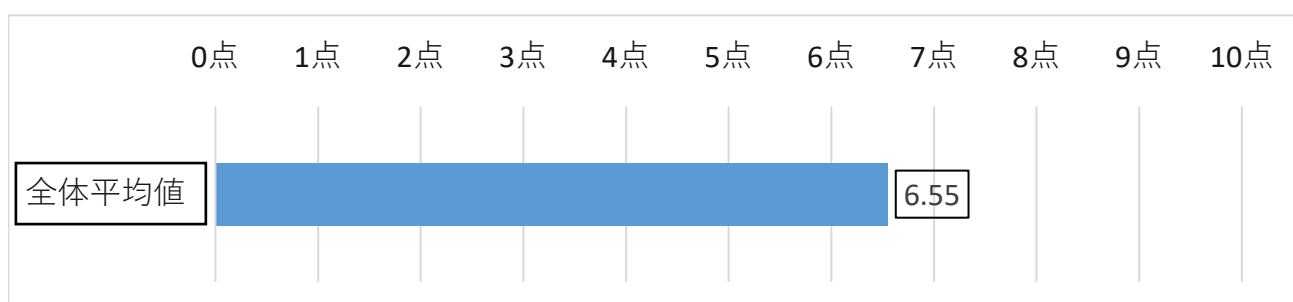
1. 日ごろ感じている幸福感について

問1. 現在、あなたはどのくらい幸せですか？「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？

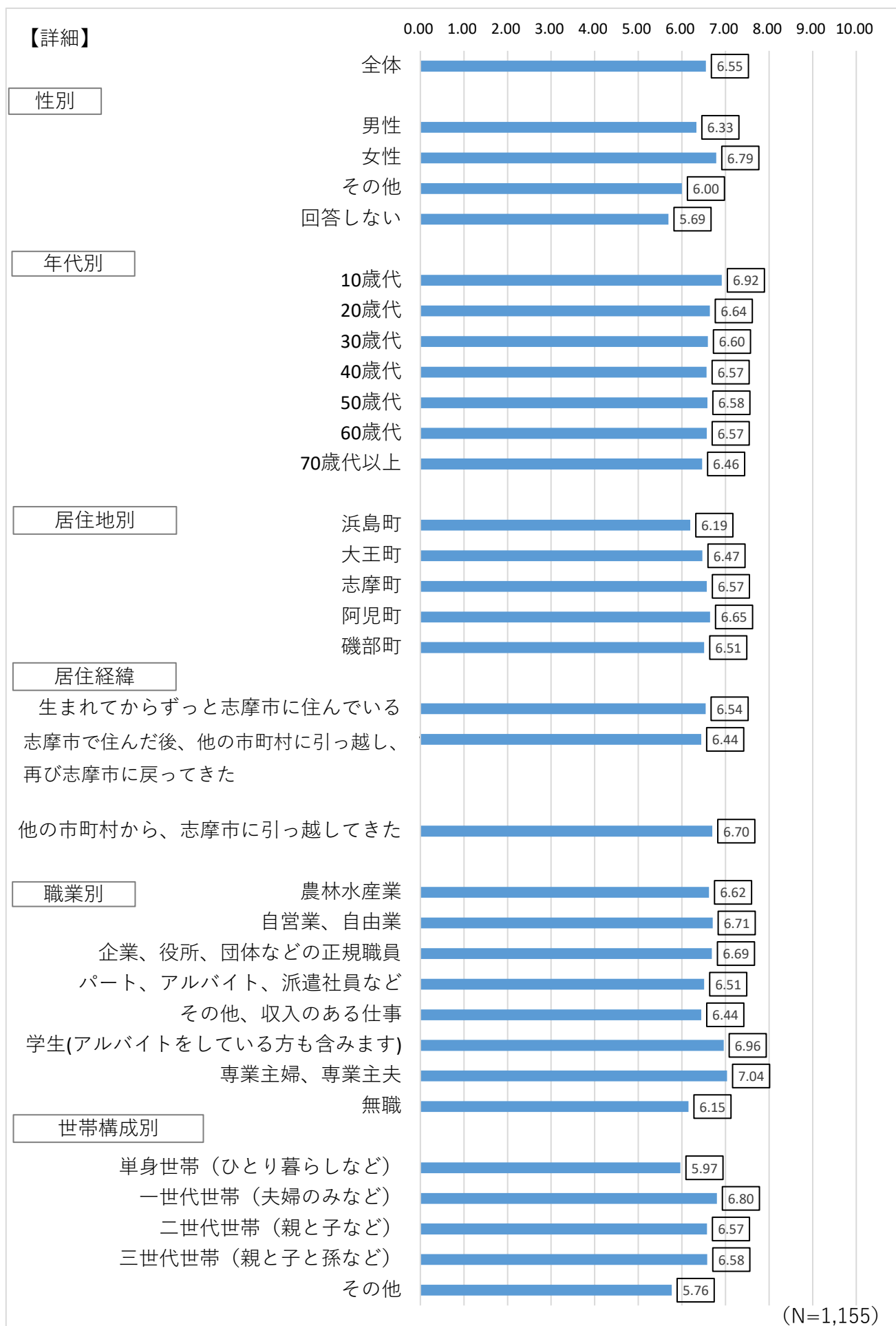
とても不幸 0点 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10点 とても幸せ

【結果】

市民の幸福度は10点満点で平均6.55点と、全体的に中程度以上の幸福を感じている人が多い状況です。特に8点(21.4%)が最も多く、次いで5点(20.6%)、7点(18.0%)と続きます。「とても幸せ」を示す10点(8.5%)や9点(6.7%)も一定数おり、多くの人が幸せを感じていることがうかがえますが、「とても不幸」に近い0～2点の回答も計2.6%存在します。



(N=1,155)



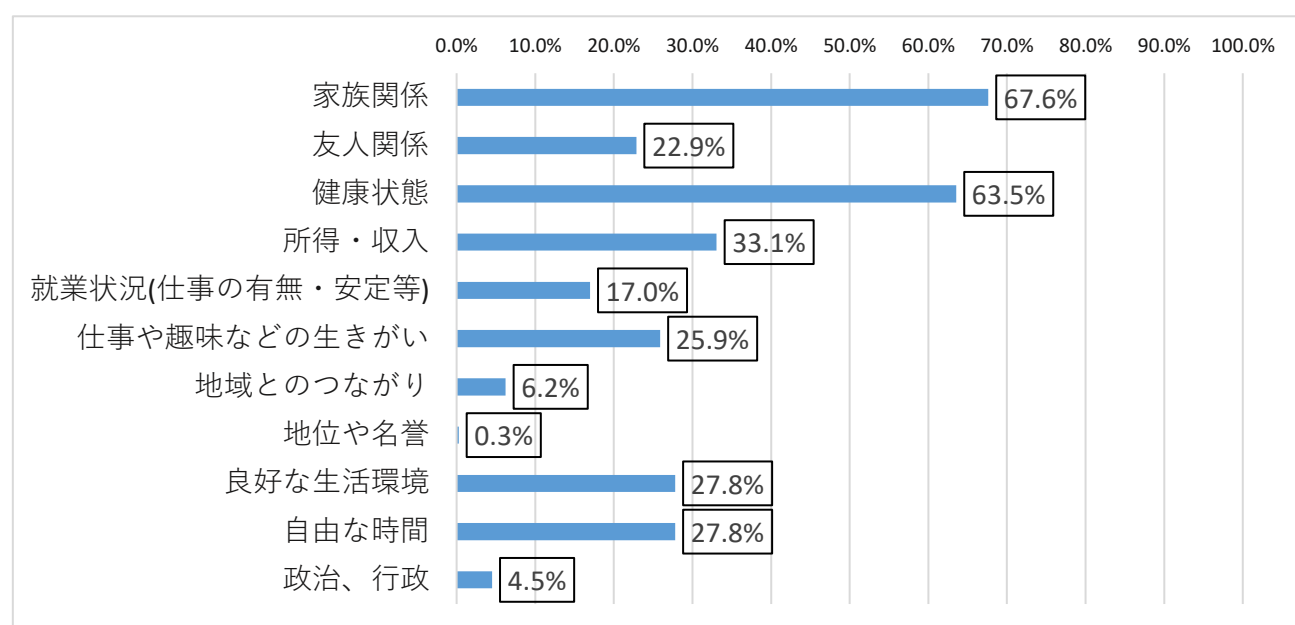
問2. 幸福感を判断する際に重視したことは何ですか？次の中からあなたの考えに近いものを3つ選んでください。（3つ選択）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1.家族関係 | 2.友人関係 |
| 3.健康状態 | 4.所得・収入 |
| 5.就業状況(仕事の有無・安定等) | 6.仕事や趣味などの生きがい |
| 7.地域とのつながり | 8.地位や名誉 |
| 9.良好な生活環境 | 10.自由な時間 |
| 11.政治、行政 | |

【結果】

幸福感を判断する上で最も重視されているのは「家族関係」(67.6%)と「健康状態」(63.5%)であり、これらが市民の幸福の基盤となっていることがうかがえます。次いで「所得・収入」(33.1%)、「良好な生活環境」(27.8%)、「自由な時間」(27.8%)が挙げられ、経済的安定や生活の質も重要な要素と認識されています。

	家族関係	友人関係	健康状態	所得・収入	就業状況 (仕事の有無・安定等)	仕事や趣味などの 生きがい	地域との つながり	地位や名誉	良好な生活環境	自由な時間	政治、行政
全体	67.6%	22.9%	63.5%	33.1%	17.0%	25.9%	6.2%	0.3%	27.8%	27.8%	4.5%



(N=1,155)

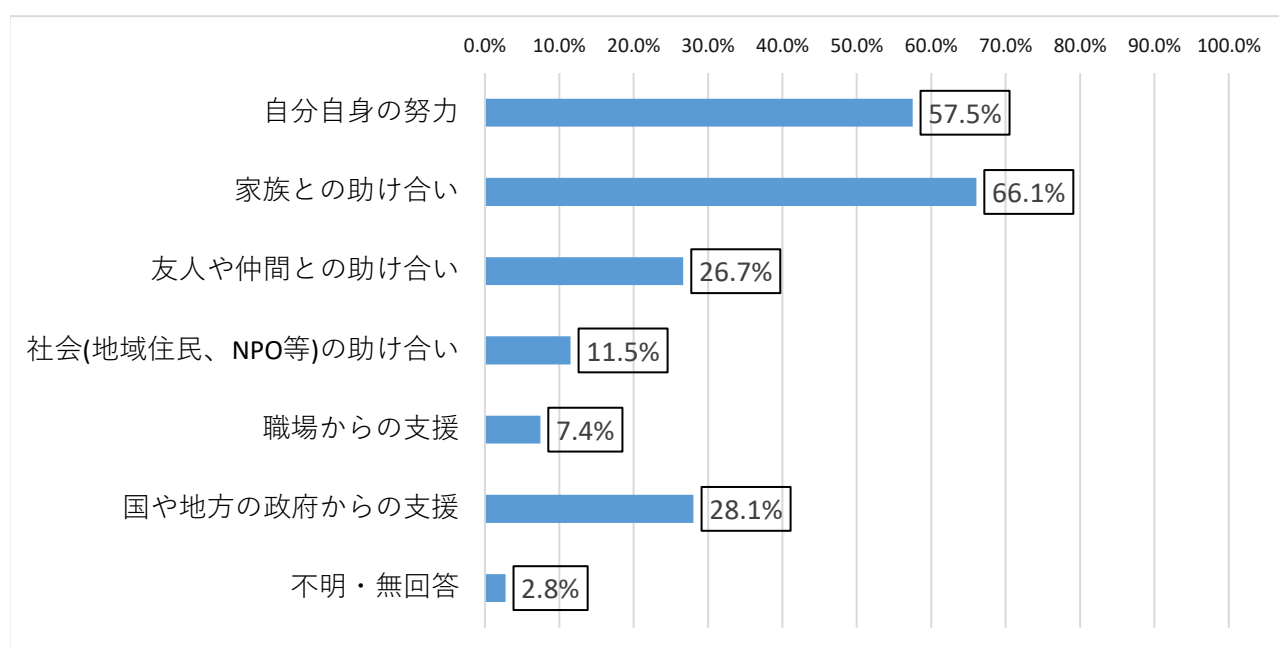
問3. あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか？次の中からあなたの考えに近いものを2つ選んでください。(2つ選択)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1.自分自身の努力 | 2.家族との助け合い |
| 3.友人や仲間との助け合い | 4.社会(地域住民、NPO等)の助け合い |
| 5.職場からの支援 | 6.国や地方の政府からの支援 |

【結果】

自身の幸福感を高めるために最も有効だと考えられているのは「家族との助け合い」(66.1%)であり、次いで「自分自身の努力」(57.5%)が重要視されています。この結果から、自身の力や身近な人々との連携によって幸福を追求することを重視していると考えられます。一方で、「国や地方の政府からの支援」(28.1%)も挙げられていることから、公的な支援に対しても少なからず期待を抱いていることがうかがえます。

	合計	自分自身の努力	家族との助け合い	友人や仲間との助け合い	社会(NPO等)の助け合い (地域住民の助け)	職場からの支援	国や地方の政府からの支援	不明・無回答
全体	1,155	664	763	308	133	86	324	32
	100.0%	57.5%	66.1%	26.7%	11.5%	7.4%	28.1%	2.8%



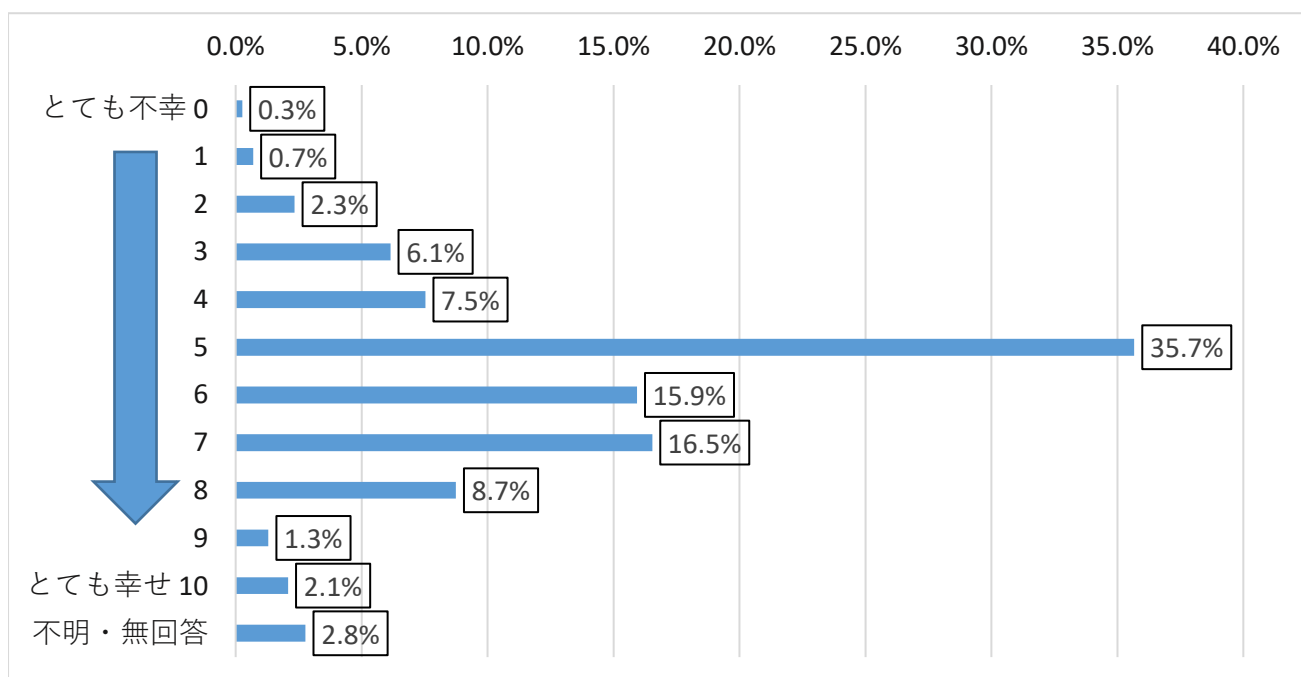
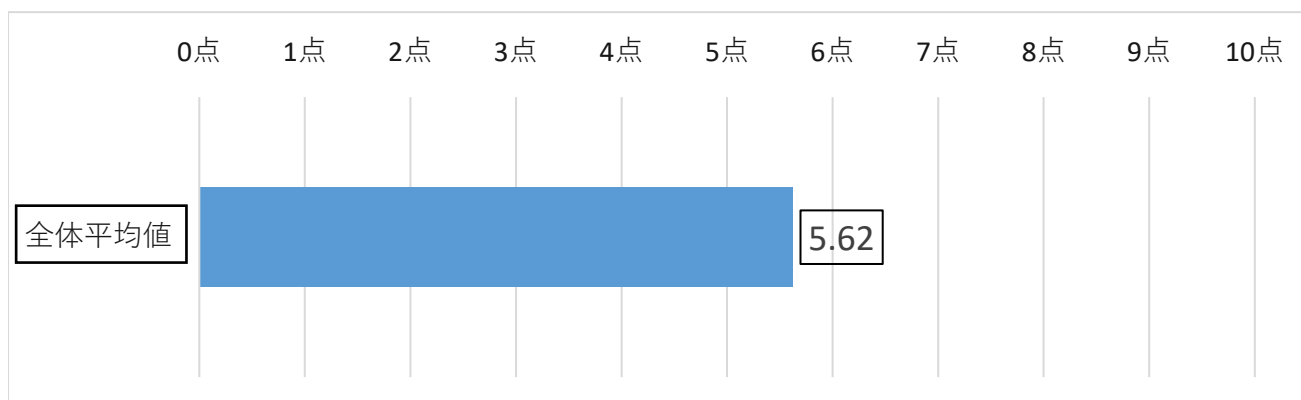
(N=1,155)

問4. あなたの地区内(集落)の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか?「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか?

とても不幸 0点 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10点 とても幸せ

【結果】

自身が感じる幸福度(問1 平均6.55点)と比較して、地域住民全体の幸福度は平均5.62点とやや低く認識されています。回答分布を見ると、5点(35.7%)が突出して多く、次いで7点(16.5%)、6点(15.9%)となっており、個人レベルよりは地域全体の幸福感に対しては控えめな見方が多いようです。



(N=1,155)

2. 志摩市への愛着・定住意向について

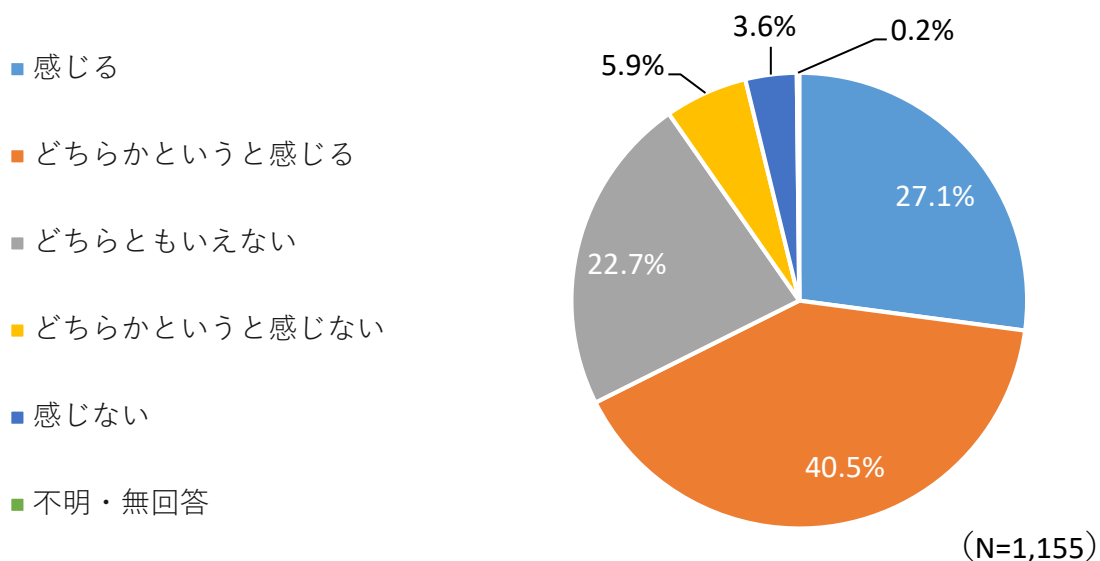
問5. あなたは、志摩市に愛着や誇りを感じますか？（1つ選択）

- | | |
|-------------|----------------|
| 1.感じる | 2.どちらかというと感じる |
| 3.どちらともいえない | 4.どちらかというと感じない |
| 5.感じない | |

【結果】

市への愛着や誇りについて、「感じる」(27.1%)と「どちらかというと感じる」(40.5%)を合わせると67.6%となり、多くの市民が好意的な印象を抱いています。しかし、「どちらともいえない」(22.7%)という中立的な意見も多く、これらの層への働きかけにより、市全体の愛着度をさらに高める余地があると考えられます。

	合計	感じる	どちらかという 感じる	どちらとも いえない	どちらかという 感じない	感じない	不明・無回答
全体	1,155	313	468	262	68	42	2
	100.0%	27.1%	40.5%	22.7%	5.9%	3.6%	0.2%



問6. あなたは、志摩市の魅力（誇れること）を人に伝える（語る）
ことができますか？（1つ選択）

1.はい

2.いいえ

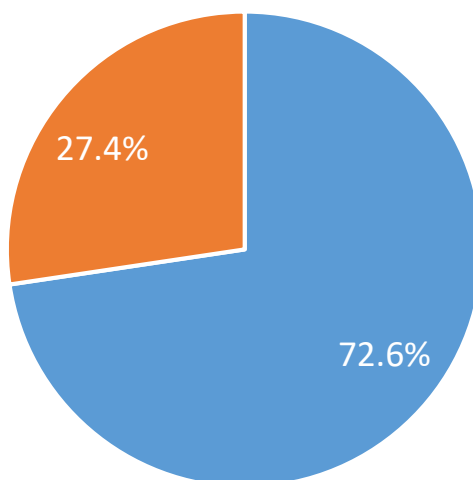
【結果】

市民の(72.6%)が志摩市の魅力を他の人に「伝える(語る)ことができる」と回答しており、これは非常に高い割合です。多くの市民が市の持つ価値を認識し、それを外部に発信する意欲を持っていることを示しており、市の魅力発信において、市民の協力が大きく期待できると言えるでしょう。

	合計	はい	いいえ
全体	1,155	839	316
	100.0%	72.6%	27.4%

■ はい

■ いいえ



(N=1,155)

副問. (問6で「1.はい」を選んだ方にお聞きします。)
志摩市の一番の魅力(誇れること)を教えてください。(1つ選択)

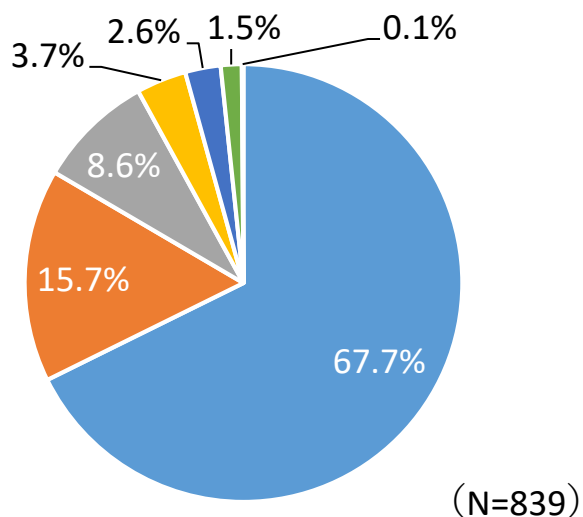
- | | |
|--------------|-----------|
| 1.豊かな自然・景観 | 2.恵まれた食 |
| 3.住民の温かさ | 4.観光資源が豊富 |
| 5.G7サミットの開催地 | 6.その他 |

【結果】

市の魅力を伝えられると回答した人の中で、「豊かな自然・景観」(67.7%)が最も多く、圧倒的な強みとして認識されています。次いで「恵まれた食」(15.7%)、「住民の温かさ」(8.6%)と続きます。志摩市らしさを形作る上で、自然環境と食資源は極めて重要な要素と言えるでしょう

	合計	豊かな自然・景観	恵まれた食	住民の温かさ	観光資源が豊富	G7サミット開催地	その他	不明・無回答
全体	839	568	132	72	31	22	13	1
	100.0%	67.7%	15.7%	8.6%	3.7%	2.6%	1.5%	0.1%

- 豊かな自然・景観
- 恵まれた食
- 住民の温かさ
- 観光資源が豊富
- G7サミットの開催地
- その他
- 不明・無回答



＜その他（自由記述）の主な内容＞

- ・温暖な気候
- ・のんびりと暮らせる
- ・生活のしやすさ
- ・災害がほとんどない
- ・地域の歴史と伝統文化
- ・サーフィン

問7.あなたは、現在の志摩市が暮らしやすいと思いますか？（1つ選択）

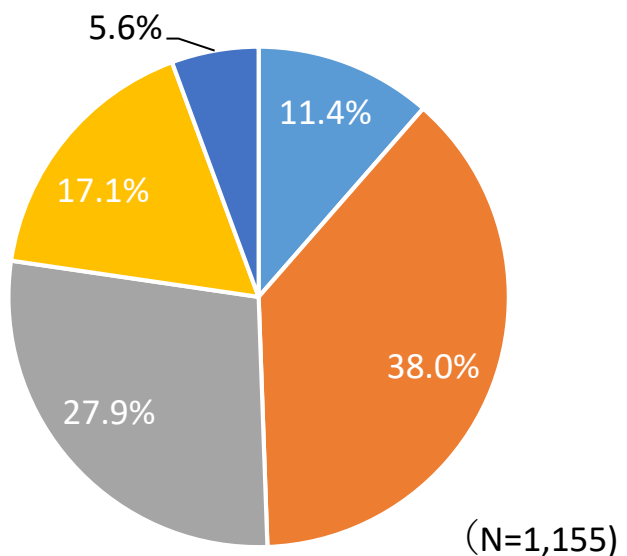
- | | |
|-------------|-----------------|
| 1.暮らしやすい | 2.どちらかという暮らしやすい |
| 3.どちらともいえない | 4.どちらかという暮らしにくい |
| 5.暮らしにくい | |

【結果】

現在の志摩市について、「暮らしやすい」(11.4%)、「どちらかという暮らしやすい」(38.0%)を合わせて49.4%が肯定的に評価しています。しかし、「どちらともいえない」(27.9%)が約3割存在し、「どちらかという暮らしにくい」(17.1%)、「暮らしにくい」(5.6%)も合わせて22.7%いることから、生活環境に対する評価は分かれており、改善を求める声も少なくないことがうかがえます。

	合計	暮らしやすい	どちらかという暮らしやすい	どちらともいえない	どちらかという暮らしにくい	暮らしにくい
全体	1,155	132	439	322	197	65
	100.0%	11.4%	38.0%	27.9%	17.1%	5.6%

- 暮らしやすい
- どちらかという暮らしやすい
- どちらともいえない
- どちらかという暮らしにくい
- 暮らしにくい



問8.あなたは、これからも志摩市に住み続けたいと思いますか？（1つ選択）

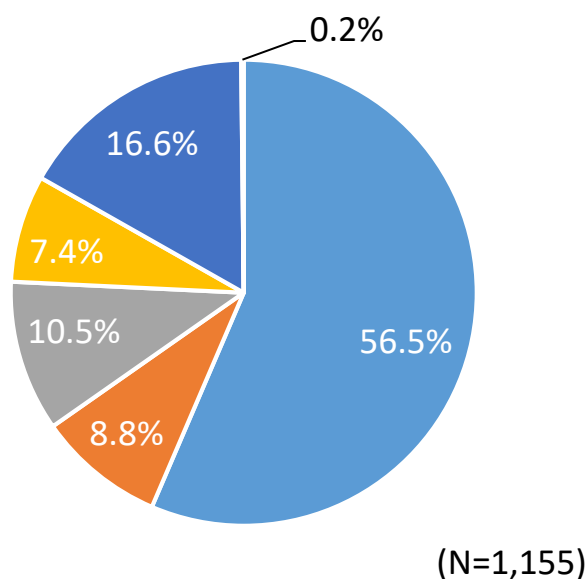
- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1.今の場所に住み続けたい
（問9へ） | 2.市内の別の場所に転居したい |
| 3.三重県内の市町に転出したい | 4.三重県外に転出したい |
| 5.わからない（問9へ） | |

【結果】

「今の場所に住み続けたい」という定住意向が（56.5%）と最も多く、過半数が現在の居住地での生活継続を望んでいます。一方で、「市内の別の場所に転居したい」（8.8%）、「三重県内の市町に転出したい」（10.5%）、「三重県外に転出したい」（7.4%）を合わせると26.7%が移動を考えており、「わからない」（16.6%）も多く、特に若年層などの定住促進が引き続き課題と言えるでしょう。

	合計	今の場所に 住み続けたい	市内の別の 場所に 転居したい	三重県内 の市町に 転出したい	三重県外 に転出 したい	わからない	不明・無 回答
全体	1,155	652	102	121	86	192	2
	100.0%	56.5%	8.8%	10.5%	7.4%	16.6%	0.2%

- 今の場所に住み続けたい
- 市内の別の場所に転居したい
- 三重県内の市町に転出したい
- 三重県外に転出したい
- わからない
- 不明・無回答



副問。（問8で「2」～「4」を選んだ方にお聞きします）
転居・転出したい理由はなんですか？（最大3つまで選択）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1.日常の買い物が不便だから | 2.適当な仕事（職場）がないから |
| 3.道路の整備が不十分だから | 4.公共交通の便が悪いから |
| 5.子育て環境が良くないから | 6.教育環境が良くないから |
| 7.学びたい大学等に通えないから | 8.自然環境が良くないから |
| 9.医療・福祉サービスが不十分だから | 10.レジャー・娯楽施設が少ないから |
| 11.文化・スポーツ施設が不十分だから | 12.上下水道などの整備が不十分だから |
| 13.適当な住宅（宅地）がないから | 14.消防・救急体制が不十分だから |
| 15.災害時への不安があるから | 16.治安が良くないから |
| 17.地域行事や近所づきあいが面倒だから | 18.その他 |

【結果】

志摩市からの転居・転出を希望する理由として、最も多く挙げられたのは「公共交通の便が悪い」（58.6%）であり、半数以上が市内の移動手段に大きな不便を感じていることが示されました。次いで、「日常の買い物が不便だから」（45.6%）といった日常生活の利便性に関する不満も4割を超え、生活の質に対する課題が浮き彫りになっています。また、「災害時への不安があるから」（42.1%）も4割を超えています。

さらに、「医療・福祉サービスが不十分だから」（35.0%）、「適当な仕事（職場）がないから」（31.4%）も3割を超えており、生活に不可欠なサービスや安定した雇用機会の不足も転出を考える重要な要因となっています。「道路の整備が不十分だから」（9.4%）や「子育て環境が良くないから」（6.1%）、「教育環境が良くないから」（4.9%）なども少数ながら挙げられています。

これらの結果は、日々の移動、買い物、余暇活動といった生活利便性の低さと、医療・福祉、雇用といった生活基盤に関わる不安が複合的に作用し、市外への転出意向につながっていることを示唆しています。

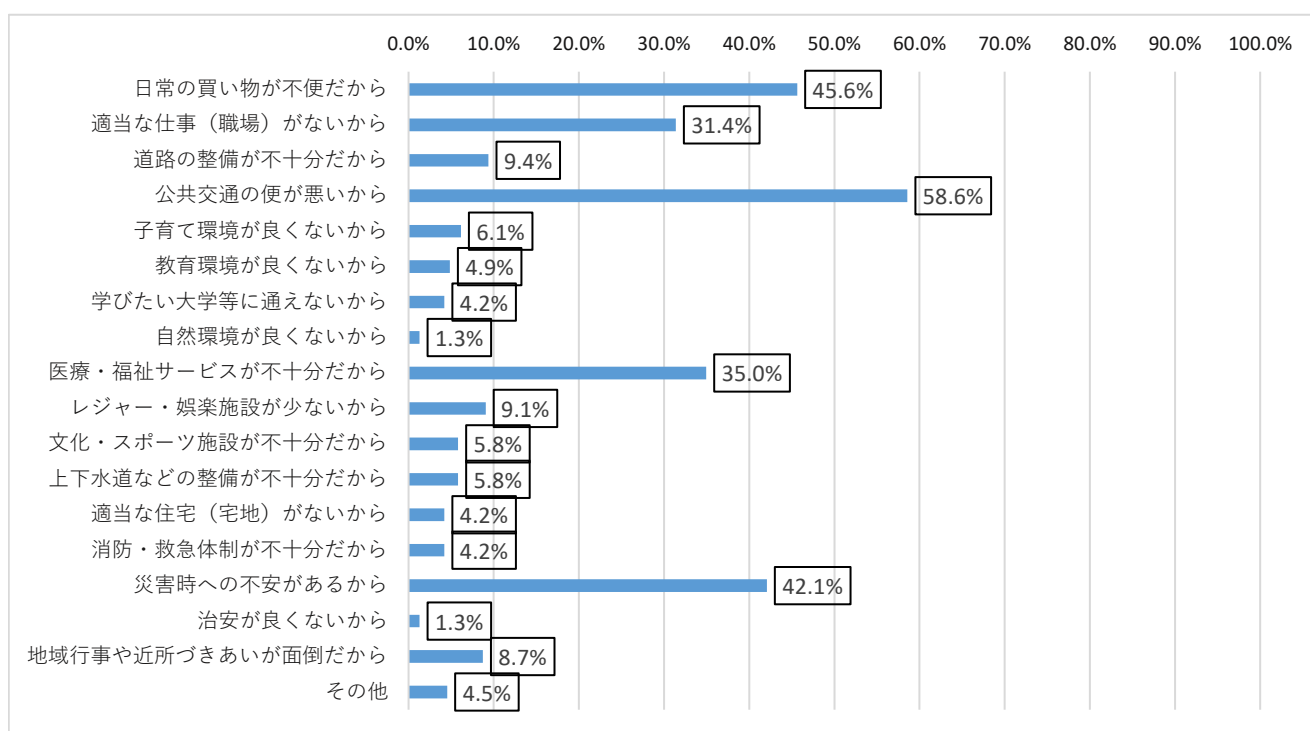
＜「18.その他」（自由記述）の主な内容＞

- ・子どもの居住地の近くへ転居したい。
- ・都市部へのアクセスが不便。
- ・市外の方が結婚相手を見つけやすいと思うから。
- ・医療機関へのアクセスが不便。
- ・将来への展望や、仕事（雇用）に対する不安。
- ・事業（商売）を行いつらい環境である。
- ・各種市税等の負担が大きいと感じる。
- ・自宅の老朽化や、立地に対する不安がある。

副問。（問8で「2」～「4」を選んだ方にお聞きします）
転居・転出したい理由はなんですか？（最大3つまで選択）

	合計	日常の買い物が不便だから	適当な仕事（職場）がないから	道路の整備が不十分だから	公共交通の便が悪いから	子育て環境が良くないから	教育環境が良くないから	学びたい大学等に通えないから	自然環境が良くないから
全体	309	141	97	29	181	19	15	13	4
	100.0%	45.6%	31.4%	9.4%	58.6%	6.1%	4.9%	4.2%	1.3%

医療・福祉サービスが不十分だから	レジャー・娯楽施設が少ないから	文化・スポーツ施設が不十分だから	上下水道などの整備が不十分だから	適当な住宅（宅地）がないから	消防・救急体制が不十分だから	災害時への不安があるから	治安が良くないから	地域行事や近所づきあいが面倒だから	その他
108	28	18	18	13	13	130	4	27	14
35.0%	9.1%	5.8%	5.8%	4.2%	4.2%	42.1%	1.3%	8.7%	4.5%



(n=309)

3. 市政に対する満足度と重要度についておたずねします

問9. 次の項目（53項目）について、あなたが「どのくらい満足しているか」という満足度について、5点満点であなたの考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

（取組の内容がわからない方は「○」わからないを選んでください。）

また、各項目のうち、今後、あなたが「特に重要」だと思う取組について、あてはまるものをすべて選んで☑（し点）をつけてください。

0.わからない

1.不満

2.やや不満

3.ふつう

4.やや満足

5.満足

【結果】

【満足度】

市民の満足度を見ると、「ごみ処理・リサイクルの推進」や「消防・救急体制の充実」などは、「満足」「やや満足」を合わせた肯定的な評価が比較的高い傾向にあります。一方で、「鉄道、バス、航路等の公共交通の充実」、「産業創出や企業誘致等による雇用の場の確保」、「地域医療、救急医療体制の充実」、「市役所の窓口サービス向上」などでは、「不満」「やや不満」の割合が高く、市民の期待に応えられていない状況がうかがえます。特にインフラや雇用、医療、行政サービスの一部に課題が集中しているようです。

【重要度】

今後、市が特に重要だと思う取り組みとしては、「地域医療、救急医療体制の充実」(39.0%) が最も高く挙げられています。次いで「自然環境の保護・再生」(36.6%)、「鉄道、バス、航路等の公共交通の充実」(33.9%)、「空家の取り壊しや利活用など空家等対策の推進」(33.6%)、「地域防災力向上や避難環境整備等の防災対策」(33.3%)などが続き、市民の生命や生活基盤の安全・安心に関わる地域医療や防災対策、そして安定した生活を支える公共交通への関心が非常に高いことが示されています。また、自然環境の保護や空き家対策といった、住みやすい環境を維持するための取り組みも重要視されていることがうかがえます。

【重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目】

以下の項目は、市民が強く改善を求めている分野であり、今後のまちづくりにおいて最優先で資源を投入し、具体的な改善策を進めるべき領域と考えられます。

●地域医療、救急医療体制の充実

市民の健康と安全に関わる最重要課題の一つでありながら、現状への評価が低く、改善が急務です。

●鉄道、バス、航路等の公共交通の充実

市民の日常生活や高齢者の移動手段確保に不可欠な公共交通について、利便性への不満が大きいことが示されています。

●空家の取り壊しや利活用など空家等対策の推進

安全や景観などの観点から空き家問題への対策は重要視されていますが、満足度が全項目中で最も低く、具体的な進展が望まれています。

●移住・定住の促進による人口減少抑制

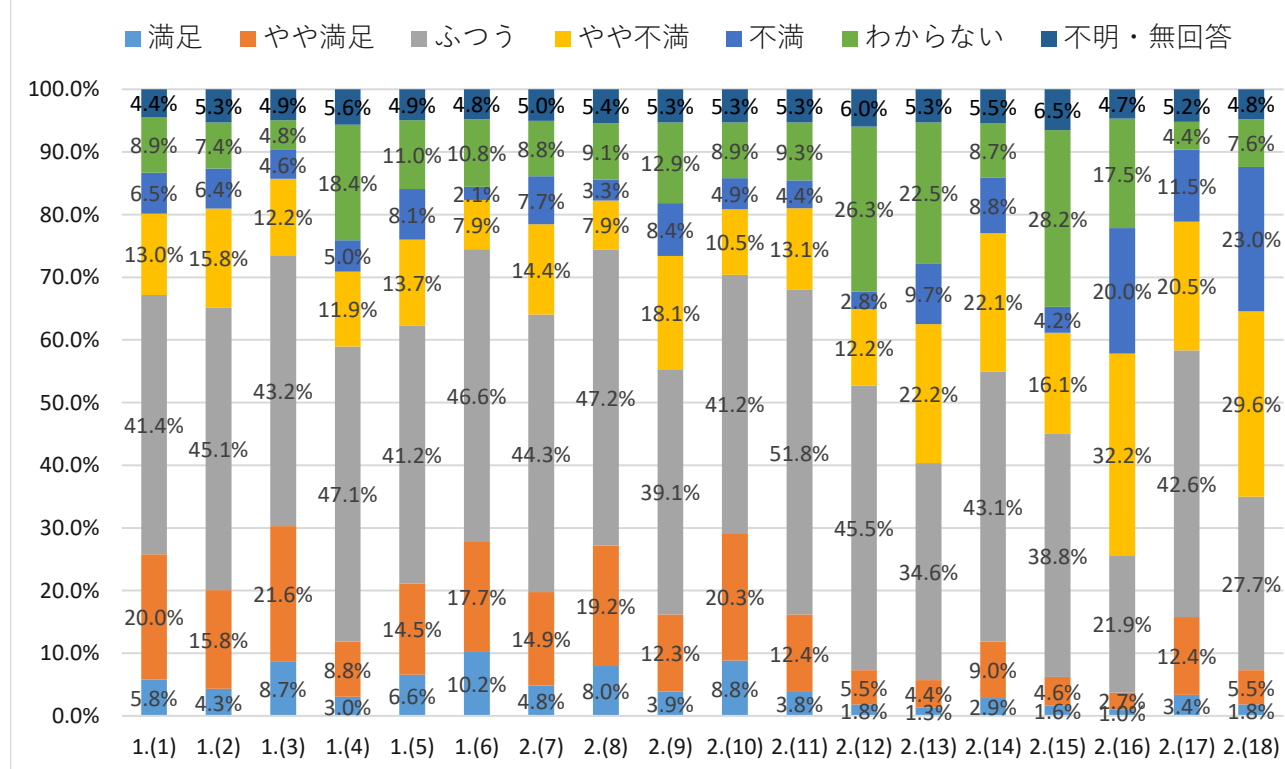
人口減少は市の持続可能性に関わる根幹的な課題であり、市民の関心も高く、より踏み込んだ対策が求められています。

●産業創出や企業誘致等による雇用の場の確保

安定した生活基盤である雇用機会への強いニーズに対し、現状の取り組みが追いついていない状況を示しており、若者定住にも関わる重要課題といえます。

問9. あなたが「どのくらい満足しているか」という満足度について

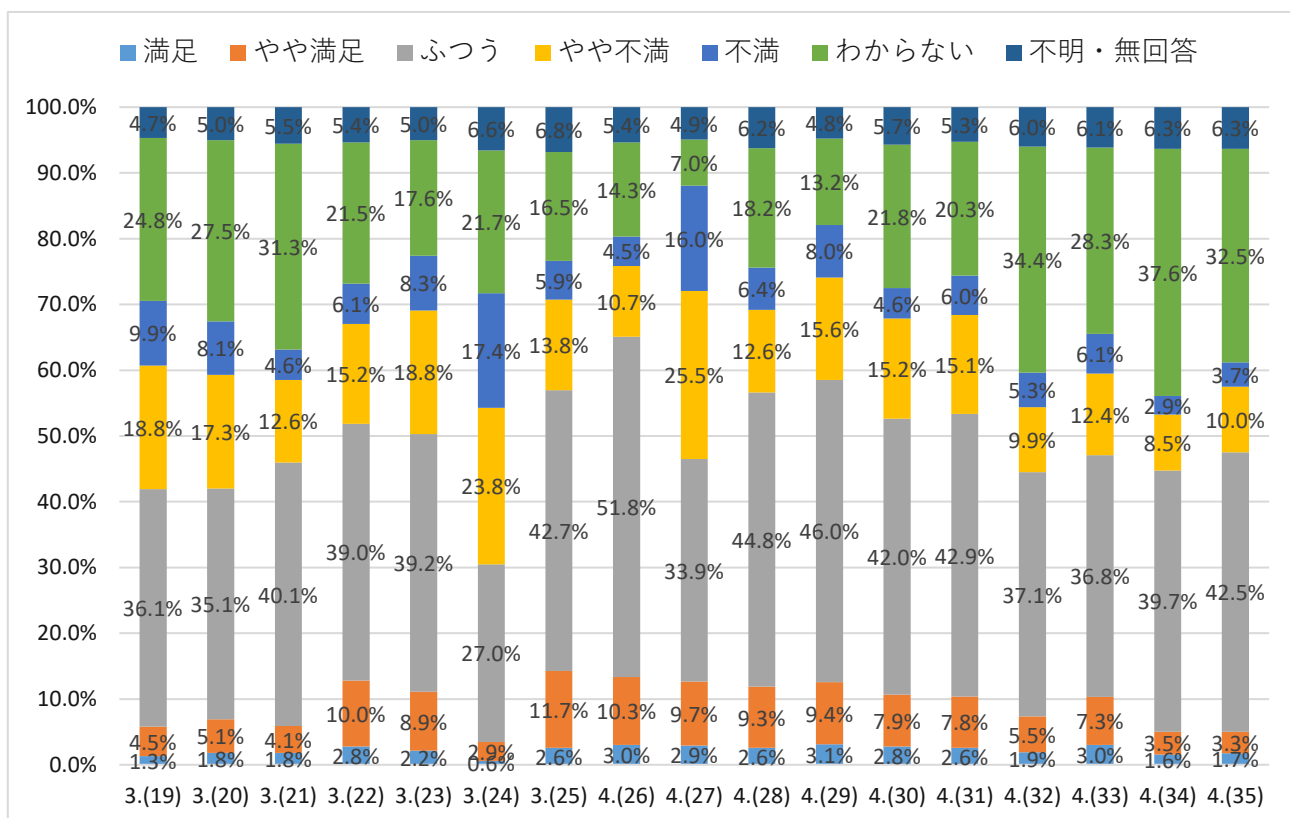
分野	No.	項目内容
1 自然・環境	(1)	自然環境の保護・再生
	(2)	景観に配慮したまちづくり
	(3)	ごみ処理・リサイクルの推進
	(4)	地球温暖化等の環境問題への対策
	(5)	上水道・生活排水処理施設の整備
	(6)	火葬場・墓地の整備
2 安全・安心	(7)	地域防災力向上や避難環境整備等の防災対策
	(8)	新型コロナウイルス感染症拡大など有事の危機管理
	(9)	自然災害へ備えた河川・海岸・砂防の整備
	(10)	消防・救急体制の充実
	(11)	交通安全・防犯対策の充実
	(12)	消費者教育や消費者相談等の充実
	(13)	地域の特性に応じた計画的な土地利用の推進
	(14)	公園・緑地の整備
	(15)	市営住宅供給、耐震化支援等の住環境整備
	(16)	空家の取り壊しや利活用など空家等対策の推進
	(17)	道路の整備・道路環境の向上
	(18)	鉄道、バス、航路等の公共交通の充実



(N=1,155)

問9. あなたが「どのくらい満足しているか」という満足度について

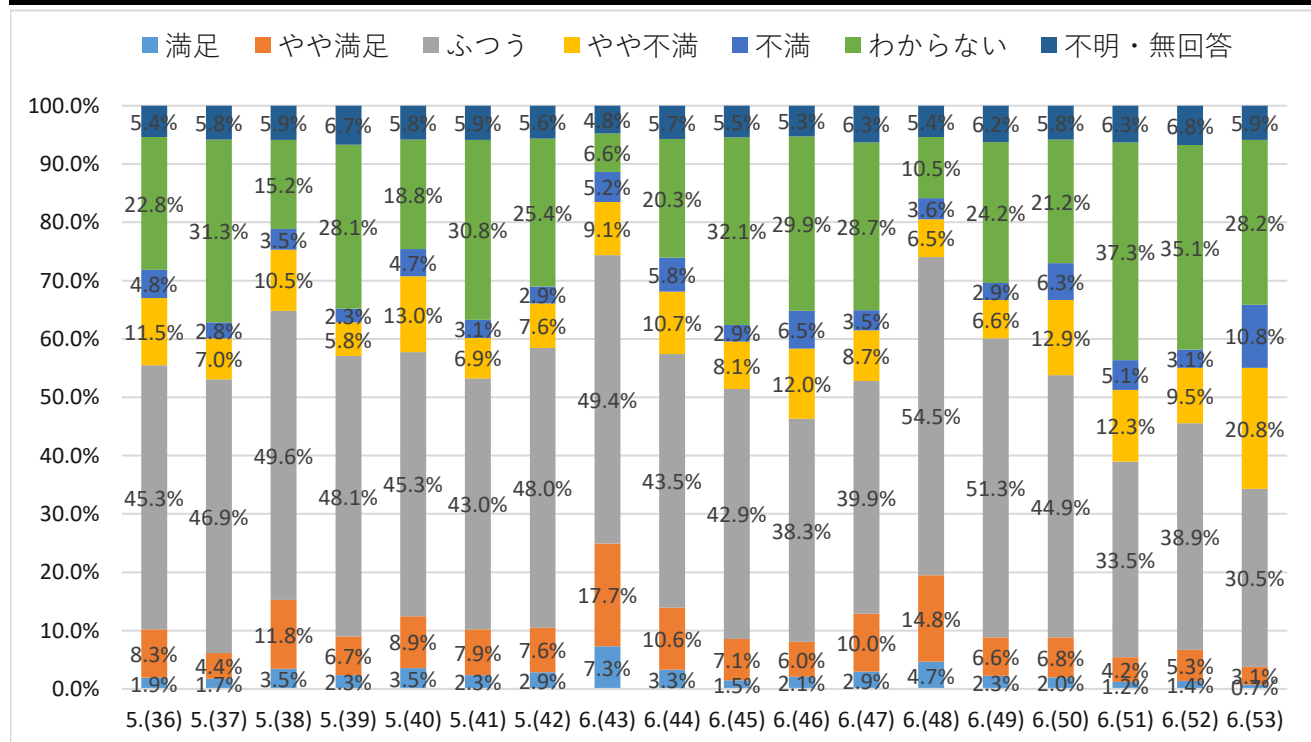
分野	No.	項目内容
3 産業	(19)	生産基盤整備や獣害対策等の農業振興
	(20)	漁場環境改善や資源管理等の水産業振興
	(21)	経営支援や創業支援等の商工業振興
	(22)	地域内外の連携による観光誘客対策
	(23)	観光施設や観光交通の整備
	(24)	産業創出や企業誘致等による雇用の場の確保
	(25)	地域資源を活用した「志摩」ブランド化
4 健康・福祉	(26)	生涯を通じた健康づくりの推進
	(27)	地域医療、救急医療体制の充実
	(28)	福祉の総合相談体制、地域支援の充実
	(29)	国民健康保険等、社会保障の充実
	(30)	高齢者の社会参加、生きがい対策の充実
	(31)	介護予防活動、介護保険サービスの充実
	(32)	障がい者(児)へのサービスの充実
	(33)	子育て支援の充実
	(34)	人権啓発の連携組織やリーダー育成
	(35)	性別等に関わらず活躍できる社会の推進



(N=1,155)

問9. あなたが「どのくらい満足しているか」という満足度について

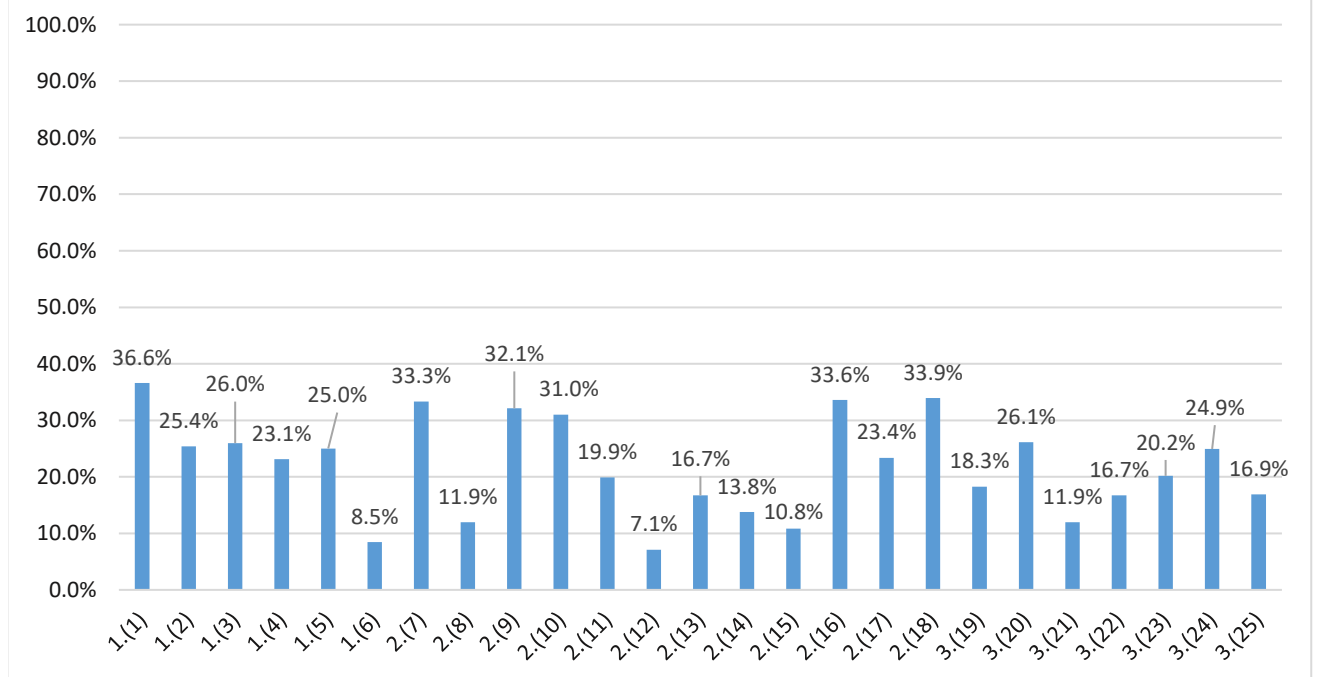
分野	No.	項目内容
5 教育・文化	(36)	学校教育の充実
	(37)	青少年健全育成の推進
	(38)	生涯学習機会、図書館等施設の充実
	(39)	学校や生涯学習での人権教育の推進
	(40)	生涯スポーツ活動、体育館等施設の充実
	(41)	文化財の保存・活用
	(42)	市民の芸術・文化活動の振興
6 まちづくり	(43)	市役所の窓口サービス向上
	(44)	行政サービスのデジタル化
	(45)	近隣市町との連携による行政サービスの提供
	(46)	市役所の事業見直しなど財政の健全化
	(47)	ふるさと納税の推進等による財源確保の強化
	(48)	市役所からの広報・情報提供の充実
	(49)	まちづくりへの市民参画、市民活動支援
	(50)	自治会活動等の住民自治基盤の強化
	(51)	企業や大学等との連携促進
	(52)	国際交流・多文化共生社会の推進
	(53)	移住・定住の促進による人口減少抑制



(N=1,155)

問9. 「特に重要」だと思う取組について

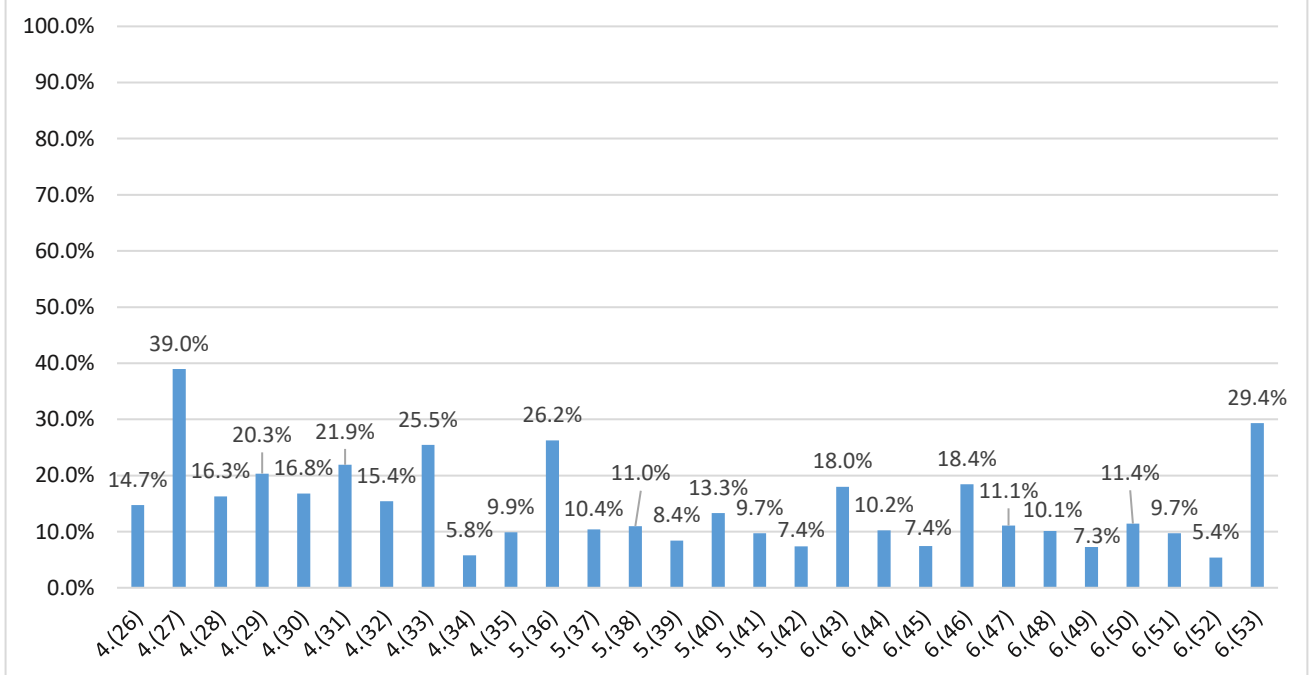
分野	No.	項目内容
1 自然・環境	(1)	自然環境の保護・再生
	(2)	景観に配慮したまちづくり
	(3)	ごみ処理・リサイクルの推進
	(4)	地球温暖化等の環境問題への対策
	(5)	上水道・生活排水処理施設の整備
	(6)	火葬場・墓地の整備
2 安全・安心	(7)	地域防災力向上や避難環境整備等の防災対策
	(8)	新型コロナウイルス感染症拡大など有事の危機管理
	(9)	自然災害へ備えた河川・海岸・砂防の整備
	(10)	消防・救急体制の充実
	(11)	交通安全・防犯対策の充実
	(12)	消費者教育や消費者相談等の充実
	(13)	地域の特性に応じた計画的な土地利用の推進
	(14)	公園・緑地の整備
	(15)	市営住宅供給、耐震化支援等の住環境整備
	(16)	空家の取り壊しや利活用など空家等対策の推進
	(17)	道路の整備・道路環境の向上
	(18)	鉄道、バス、航路等の公共交通の充実
3 産業	(19)	生産基盤整備や獣害対策等の農業振興
	(20)	漁場環境改善や資源管理等の水産業振興
	(21)	経営支援や創業支援等の商工業振興
	(22)	地域内外の連携による観光誘客対策
	(23)	観光施設や観光交通の整備
	(24)	産業創出や企業誘致等による雇用の場の確保
	(25)	地域資源を活用した「志摩」ブランド化



(N=1,155)

問9. 「特に重要」だと思う取組について

分野	No.	項目内容
4 健康・福祉	(26)	生涯を通じた健康づくりの推進
	(27)	地域医療、救急医療体制の充実
	(28)	福祉の総合相談体制、地域支援の充実
	(29)	国民健康保険等、社会保障の充実
	(30)	高齢者の社会参加、生きがい対策の充実
	(31)	介護予防活動、介護保険サービスの充実
	(32)	障がい者(児)へのサービスの充実
	(33)	子育て支援の充実
	(34)	人権啓発の連携組織やリーダー育成
	(35)	性別等に関わらず活躍できる社会の推進
5 教育・文化	(36)	学校教育の充実
	(37)	青少年健全育成の推進
	(38)	生涯学習機会、図書館等施設の充実
	(39)	学校や生涯学習での人権教育の推進
	(40)	生涯スポーツ活動、体育館等施設の充実
	(41)	文化財の保存・活用
	(42)	市民の芸術・文化活動の振興
6 まちづくり	(43)	市役所の窓口サービス向上
	(44)	行政サービスのデジタル化
	(45)	近隣市町との連携による行政サービスの提供
	(46)	市役所の事業見直しなど財政の健全化
	(47)	ふるさと納税の推進等による財源確保の強化
	(48)	市役所からの広報・情報提供の充実
	(49)	まちづくりへの市民参画、市民活動支援
	(50)	自治会活動等の住民自治基盤の強化
	(51)	企業や大学等との連携促進
	(52)	国際交流・多文化共生社会の推進
	(53)	移住・定住の促進による人口減少抑制



(N=1,155)

問9. 満足度評価と重要度評価からわかる施策の評価について

偏差値の求め方

満足度と重要度の回答について、以下のとおり施策ごとに施策の得点を算出しています。

【満足度評価に関する施策の得点の計算式】

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 5 + \text{「やや満足」} \times 4 + \text{「ふつう」} \times 3 + \text{「やや不満」} \times 2 + \text{「不満」}}{\text{全回答数 (n)} - \text{「わからない」} - \text{不明・未記入数}}$$

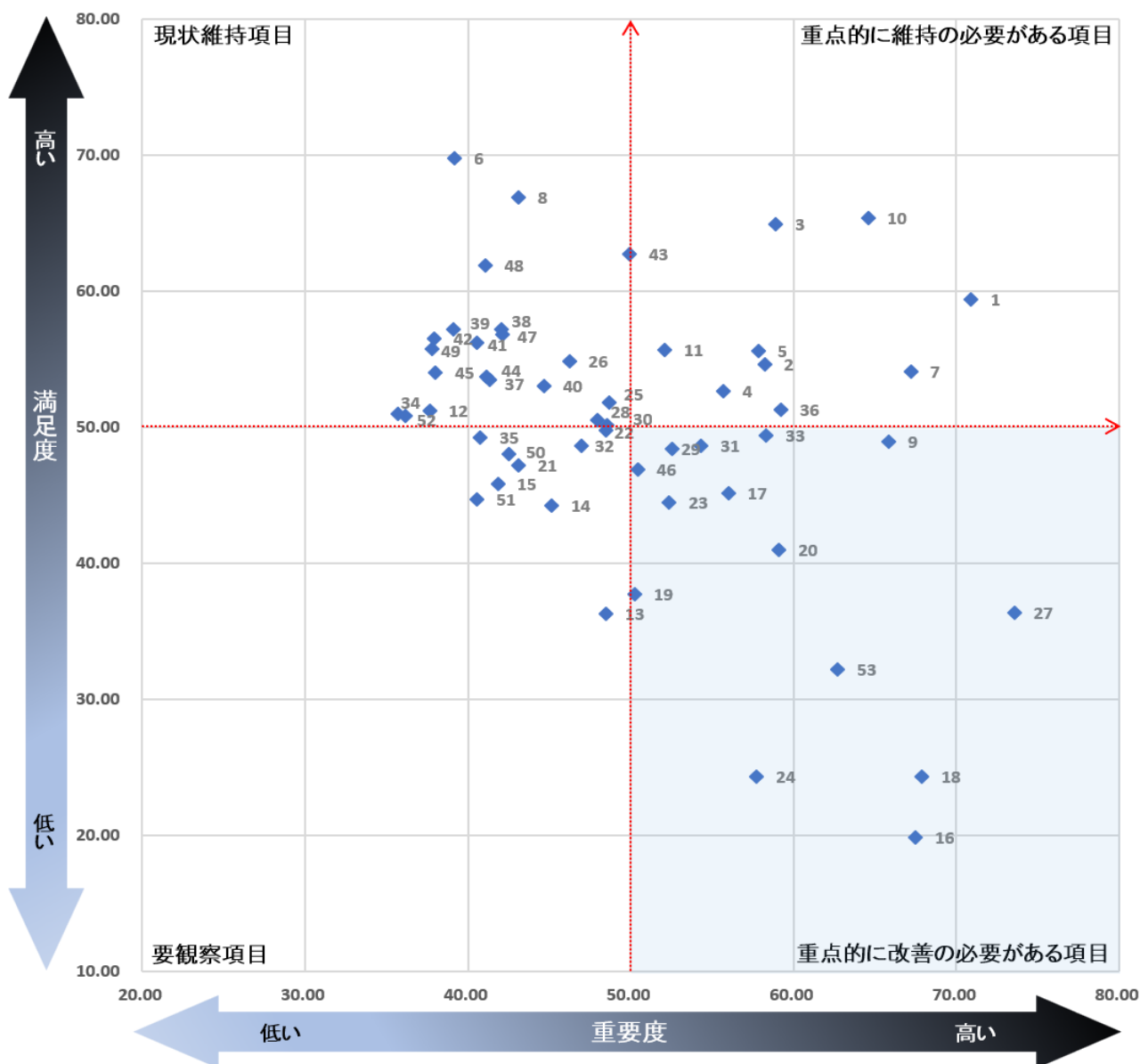
【重要度評価に関する施策の得点の計算式】

$$\text{重要度} = \frac{\text{「特に重要だと思う取組」の回答数}}{\text{全回答数 (n)}}$$

求めた得点から、次の計算式により各施策の満足度と重要度の偏差値を算出します。

施策の偏差値＝

$$(\text{施策の得点} - \text{施策の平均点}) \div \text{標準偏差} \times 10 + 50$$



問9. 施策の満足度と重要度の偏差値一覧

No.	項目内容	重要度	満足度
1	自然環境の保護・再生	70.92	59.37
2	景観に配慮したまちづくり	58.23	54.59
3	ごみ処理・リサイクルの推進	58.91	64.93
4	地球温暖化等の環境問題への対策	55.69	52.64
5	上水道・生活排水処理施設の整備	57.84	55.56
6	火葬場・墓地の整備	39.19	69.73
7	地域防災力向上や避難環境整備等の防災対策	67.21	54.05
8	新型コロナウイルス感染症拡大など有事の危機管理	43.10	66.89
9	自然災害へ備えた河川・海岸・砂防の整備	65.84	48.93
10	消防・救急体制の充実	64.57	65.36
11	交通安全・防犯対策の充実	52.08	55.67
12	消費者教育や消費者相談等の充実	37.63	51.18
13	地域の特性に応じた計画的な土地利用の推進	48.47	36.29
14	公園・緑地の整備	45.15	44.24
15	市営住宅供給、耐震化支援等の住環境整備	41.83	45.85
16	空家の取り壊しや利活用など空家等対策の推進	67.50	19.80
17	道路の整備・道路環境の向上	55.98	45.14
18	鉄道、バス、航路等の公共交通の充実	67.89	24.33
19	生産基盤整備や獣害対策等の農業振興	50.22	37.69
20	漁場環境改善や資源管理等の水産業振興	59.11	40.96
21	経営支援や創業支援等の商工業振興	43.10	47.17
22	地域内外の連携による観光誘客対策	48.47	49.73
23	観光施設や観光交通の整備	52.37	44.45
24	産業創出や企業誘致等による雇用の場の確保	57.74	24.28
25	地域資源を活用した「志摩」ブランド化	48.66	51.81
26	生涯を通じた健康づくりの推進	46.22	54.83
27	地域医療、救急医療体制の充実	73.55	36.35
28	福祉の総合相談体制、地域支援の充実	47.98	50.48
29	国民健康保険等、社会保障の充実	52.57	48.41
30	高齢者の社会参加、生きがい対策の充実	48.57	50.17
31	介護予防活動、介護保険サービスの充実	54.32	48.60
32	障がい者(児)へのサービスの充実	47.00	48.66
33	子育て支援の充実	58.33	49.37
34	人権啓発の連携組織やリーダー育成	36.17	50.84
35	性別等に関わらず活躍できる社会の推進	40.76	49.22
36	学校教育の充実	59.20	51.24
37	青少年健全育成の推進	41.34	53.45
38	生涯学習機会、図書館等施設の充実	42.03	57.22
39	学校や生涯学習での人権教育の推進	39.10	57.18
40	生涯スポーツ活動、体育館等施設の充実	44.66	53.05
41	文化財の保存・活用	40.56	56.21
42	市民の芸術・文化活動の振興	37.93	56.51
43	市役所の窓口サービス向上	49.93	62.71
44	行政サービスのデジタル化	41.15	53.68
45	近隣市町との連携による行政サービスの提供	38.02	54.02
46	市役所の事業見直しなど財政の健全化	50.42	46.86
47	ふるさと納税の推進等による財源確保の強化	42.12	56.78
48	市役所からの広報・情報提供の充実	41.05	61.86
49	まちづくりへの市民参画、市民活動支援	37.83	55.77
50	自治会活動等の住民自治基盤の強化	42.51	48.05
51	企業や大学等との連携促進	40.56	44.67
52	国際交流・多文化共生社会の推進	35.68	50.99
53	移住・定住の促進による人口減少抑制	62.72	32.16

※重要度は、上位10項目 / 満足度は、下位10項目を色付けしています。

4. 人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりについておたずねします

問10. 若者が住んで、子どもを産み育てられるまちをつくるために、市が優先して取り組む対策は、何だと思いますか？
重要だと思う順番に、2つ選んでください（2つ選択）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1.子育てしやすい環境をつくる | 2.女性が暮らしやすい環境をつくる |
| 3.若者の働く場をつくる | 4.結婚したい人の出会いの場をつくる |
| 5.居住環境を整備する | |

【結果】

若者の定住・子育て支援策として、市民が市に最も優先して取り組むべきだと考えている対策は「若者の働く場をつくる」ことであり、1番目の優先事項として挙げた回答者が（45.5%）と最多でした。これは安定した雇用と収入が若者世代の生活設計の基盤として重要であるとの認識を示しています。わずかな差で「子育てしやすい環境をつくる」も1番目の優先事項として（41.0%）が回答しており、これら雇用創出と子育て環境整備が、他の選択肢（女性が暮らしやすい環境、出会いの場、居住環境整備等）を大きく引き離して重視されています。2番目の優先事項を見ても「若者の働く場をつくる」（33.5%）が最多で、次いで「子育てしやすい環境づくり」（22.4%）、「居住環境を整備する」（21.0%）が続きます。1番目と2番目の回答を合計した全体的な重視度では、「若者の働く場をつくる」（計79.0%）と「子育てしやすい環境をつくる」（計63.4%）が突出しており、この二本柱への集中的な取り組みが市民から強く求められていることがわかります。次いで「居住環境を整備する」（計25.2%）も一定の重要性を示しています。

<「6. その他」（自由記述）の主な内容>

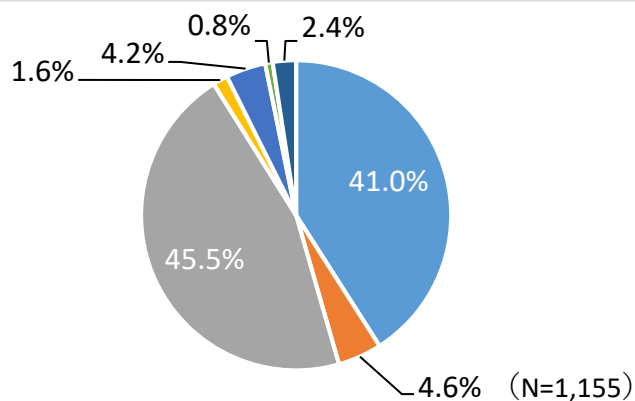
- ・雇用機会の創出と所得水準の向上（企業誘致、多様な働き方の支援）
- ・子育て世帯への直接的な経済支援強化（例：出産祝金100万円、子育て支援金300万円）
- ・市内での出産・小児医療体制の確立
- ・住民税等の経済的負担の軽減
- ・子育て関連施設の整備・充実（屋内で遊べる施設）
- ・公共交通機関の利便性向上
- ・大学等の高等教育機関の設置・誘致
- ・子育てしやすい住宅環境の整備
- ・子育てに関する相談支援体制の強化
- ・魅力的なまちづくりと生活環境の向上（移住・定住を促進するような魅力あるまちづくり）

問10. 若者が住んで、子どもを産み育てられるまちをつくるために、市が優先して取り組む対策は、何だと思いますか？
重要だと思う順番に、2つ選んでください（2つ選択）

1番目	合計	子育てしやすい環境をつくる	女性が暮らしやすい環境をつくる	若者の働く場をつくる	結婚したい人の出会いの場をつくる	居住環境を整備する	その他	不明・無回答
全体	1,155 100.0%	473 41.0%	53 4.6%	526 45.5%	18 1.6%	48 4.2%	9 0.8%	28 2.4%

1番目

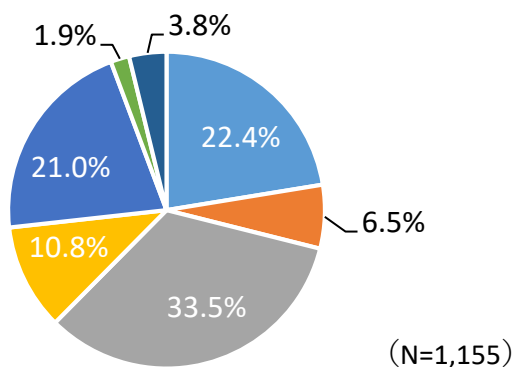
- 子育てしやすい環境をつくる
- 女性が暮らしやすい環境をつくる
- 若者の働く場をつくる
- 結婚したい人の出会いの場をつくる
- 居住環境を整備する
- その他
- 不明・無回答



2番目	合計	子育てしやすい環境をつくる	女性が暮らしやすい環境をつくる	若者の働く場をつくる	結婚したい人の出会いの場をつくる	居住環境を整備する	その他	不明・無回答
全体	1,155 100.0%	259 22.4%	75 6.5%	387 33.5%	125 10.8%	243 21.0%	22 1.9%	45 3.9%

2番目

- 子育てしやすい環境をつくる
- 女性が暮らしやすい環境をつくる
- 若者の働く場をつくる
- 結婚したい人の出会いの場をつくる
- 居住環境を整備する
- その他
- 不明・無回答



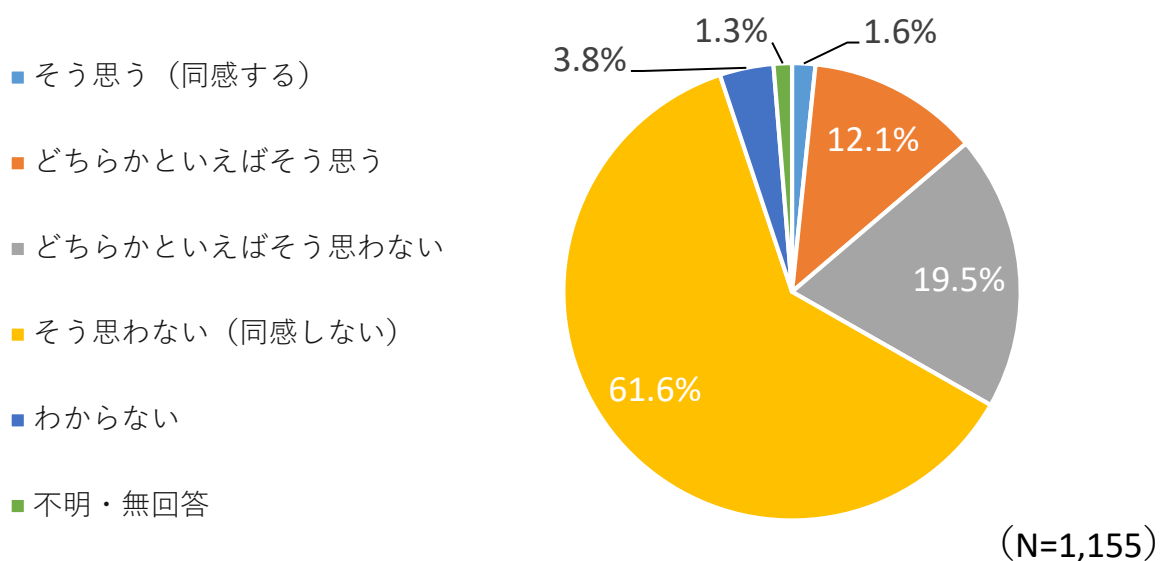
問11. あなたは、「男は仕事、女は家庭」のように、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか？（1つ選択）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. と思う（同感する） | 2. どちらかといえばと思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない（同感しない） |
| 5. わからない | |

【結果】

「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分業の考え方に対しては、「そう思わない(同感しない)」(61.6%)と「どちらかといえばそう思わない」(19.5%)を合わせて81.1%が否定的な見解を示しています。一方で、「と思う(同感する)」(1.6%)、「どちらかといえばと思う」(12.1%)という肯定的な意見も少数ながら存在します。全体としては、多様な生き方を尊重する意識が浸透していると言えるでしょう。

	合計	(同感する) と思う	どちらか といえば と思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない (同感 しない)	わからない	不明・ 無回答
全体	1,155	19	140	225	712	44	15
	100.0%	1.6%	12.1%	19.5%	61.6%	3.8%	1.3%



問12. 志摩市における男性の家事・育児参画の状況について、あなたの考えに最も近いものはどれですか？（1つ選択）

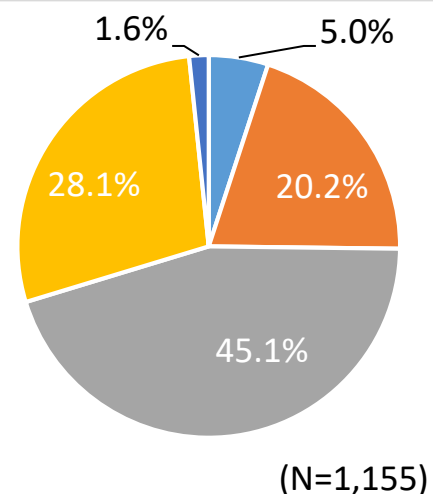
- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1.十分に進んでおり、現状以上に男性の家事・育児参画を進める必要はない | 2.それなりに進んでいるが、より進めていく必要がある |
| 3.まだまだ不十分であり、もっと進めていく必要がある | 4.わからない |

【結果】

男性の家事・育児への参画状況については、「まだまだ不十分であり、もっと進めていく必要がある」（45.1%）という意見が最も多く、次いで「それなりに進んでいるが、より進めていく必要がある」（20.2%）となっています。合わせて65.3%が更なる推進が必要と考えており、現状で十分と考える人（5.0%）は少数派です。「わからない」（28.1%）も多く、関心の喚起も必要かもしれません。

	合計	十分に進んでおり、現状以上に男性の家事・育児参画を進める必要はない	それなりに進んでいるが、より進めていく必要がある	まだまだ不十分であり、もっと進めていく必要がある	わからない	不明・無回答
全体	1,155	58	233	521	324	19
	100.0%	5.0%	20.2%	45.1%	28.1%	1.6%

- 十分に進んでおり、現状以上に男性の家事・育児参画を進める必要はない
- それなりに進んでいるが、より進めていく必要がある
- まだまだ不十分であり、もっと進めていく必要がある
- わからない
- 不明・無回答



問13. あなたは、この1年間のうちに、自分の住む地域やその他の地域も含め、地域の活性化につながる取り組みや、地域をより良くする活動に参加しましたか？（1つ選択）

1.参加した

2.参加しなかった

3.取り組みや活動があることを知らなかった

【結果】

地域の活性化や改善につながる活動に過去1年間に「参加した」人の割合は(31.1%)にとどまっています。「参加しなかった」人の割合が最も多く(40.3%)、「取り組みや活動があることを知らなかった」人が(27.0%)となっており、市民の地域活動への関与は低い水準です。活動の魅力を向上させ、情報提供の方法を工夫することで、参加を促進する必要があると考えられます。

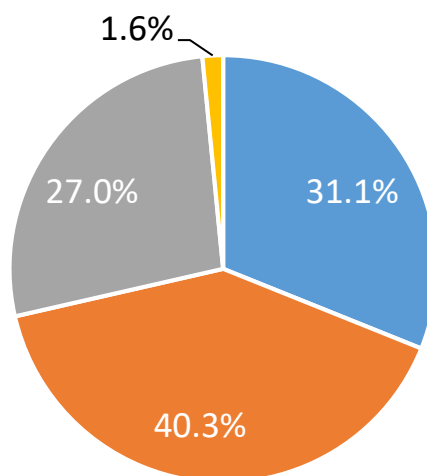
	合計	参加した	参加しなかった	取り組みや活動があることを知らなかった	不明・無回答
全体	1,155	359	466	312	18
	100.0%	31.1%	40.3%	27.0%	1.6%

■ 参加した

■ 参加しなかった

■ 取り組みや活動があることを知らなかった

■ 不明・無回答



(N=1,155)

問14. あなたは、困ったときに身近に相談できる人や団体がありますか？
(1つ選択)

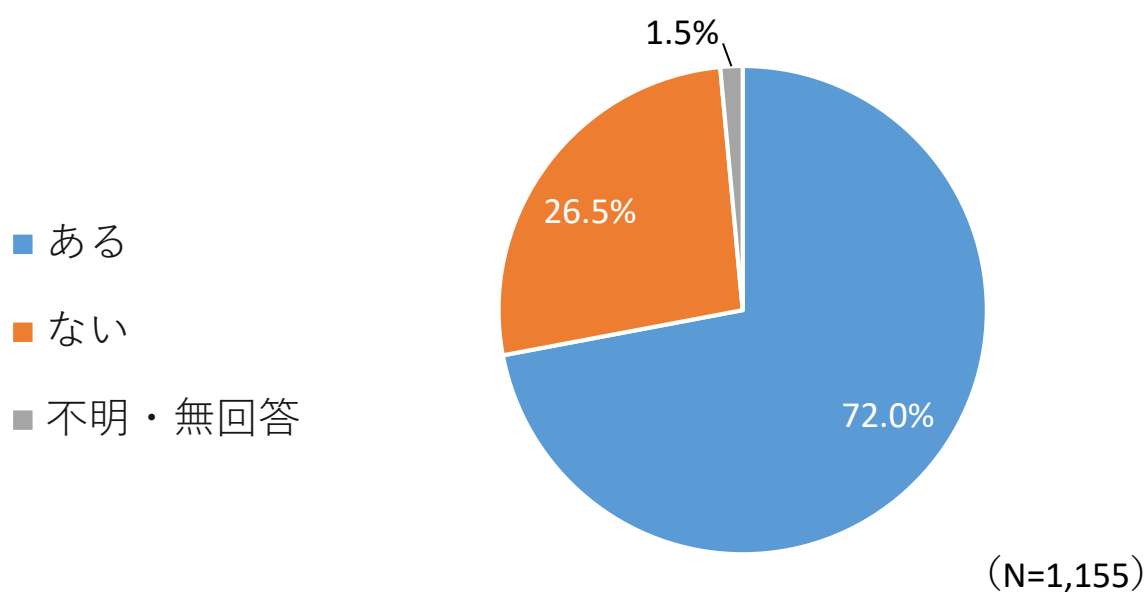
1.ある

2.ない

【結果】

困ったときに相談できる相手が「ある」と回答した人は72.0%にのぼり、多くの市民が孤立せず、何らかの人的・組織的サポートネットワークを持っていることが示唆されます。しかし、「ない」と回答した人も26.5%おり、約4人に1人が相談相手がない状況にあるため、セーフティネットの強化や相談しやすい環境づくりが重要となります。

	合計	ある	ない	不明・無回答
全体	1,155	832	306	17
	100.0%	72.0%	26.5%	1.5%



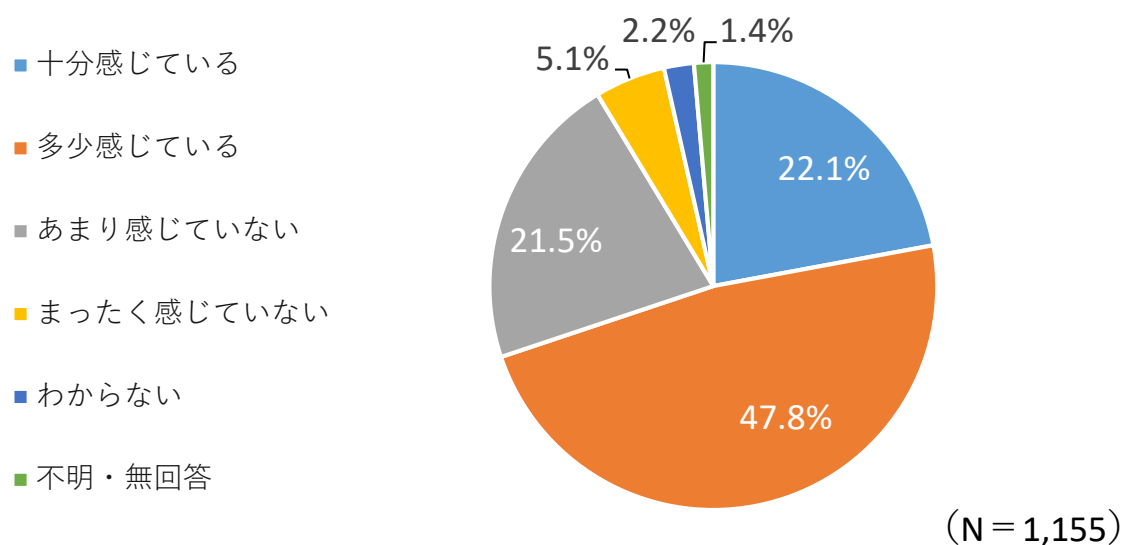
問15. あなたは、現在、どのくらい生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか？
（1つ選択）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1.十分感じている | 2.多少感じている |
| 3.あまり感じていない | 4.まったく感じていない |
| 5.わからない | |

【結果】

生きがい（喜びや楽しみ）について、「十分感じている」と答えた人の割合は(22.1%)、「多少感じている」と答えた人の割合は(47.8%)で、これらを合わせると69.9%となり、約7割の市民が何らかの生きがいを感じていることがわかります。一方で、「あまり感じていない」と答えた人の割合は(21.5%)、「まったく感じていない」と答えた人の割合も(5.1%)おり、これらを合わせると26.6%となり、生きがいを感じられていない層も少なくありません。高齢者だけでなく、全世代的な生きがいづくりを支援していくことが求められます。

	合計	十分感じている	多少感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	不明・無回答
全体	1,155	255	552	248	59	25	16
	100.0%	22.1%	47.8%	21.5%	5.1%	2.2%	1.4%



問16. あなたは、将来、志摩市がどんなまちになってほしいですか？
最大3つまで選んでください。（3つまで選択）

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 海洋資源を活用した新産業が生まれ、世界から注目されるまち | 2. 新しいアイデアや技術を持つ人が集まり、次々と変革が生まれるまち |
| 3. 自動運転でスムーズに、高齢者や観光客が快適に移動できるまち | 4. デジタル技術の活用により、生活のあらゆる場面で利便性が高いまち |
| 5. 自然と共生するライフスタイルが根付き、人々の心も豊かになるまち | 6. 美しい自然と文化を活かした、世界中の人々があこがれる観光のまち |
| 7. 遠隔医療やAI診断など最新の医療技術で、市民の健康を守るまち | 8. 子どもたちの創造性や個性を育む保育・教育環境が充実しているまち |
| 9. 国際的な視野を持つ人材を育成し、世界で活躍できる人材を輩出するまち | 10. その他 |

【結果】

志摩市の将来像として市民が最も強く望んでいるのは、「自然と共生するライフスタイルが根付き、人々の心も豊かになるまち」(55.2%)でした。これは、志摩市の最大の魅力である豊かな自然環境を維持・活用しつつ、物質的な豊かさだけでなく精神的な充足感も得られる暮らしへの高い関心を示しています。次いで、「子どもたちの創造性や個性を育む保育・教育環境が充実しているまち」(47.0%)への期待が非常に高く、少子高齢化が進む中で、次世代育成への投資と教育環境の充実が極めて重要な課題と認識されていることがうかがえます。

この二つのビジョンが突出して高い支持を集める一方で、「美しい自然と文化を活かした、世界中の人々があこがれる観光のまち」(30.8%)や、「海洋資源を活用した新産業が生まれ、世界から注目されるまち」(27.3%)といった、地域資源を活用した産業振興への期待も一定数見られました。

これらの結果から、市民は自然環境の保全と次世代育成を基盤としつつ、地域資源を活かした持続可能な発展を志向していると考えられます。

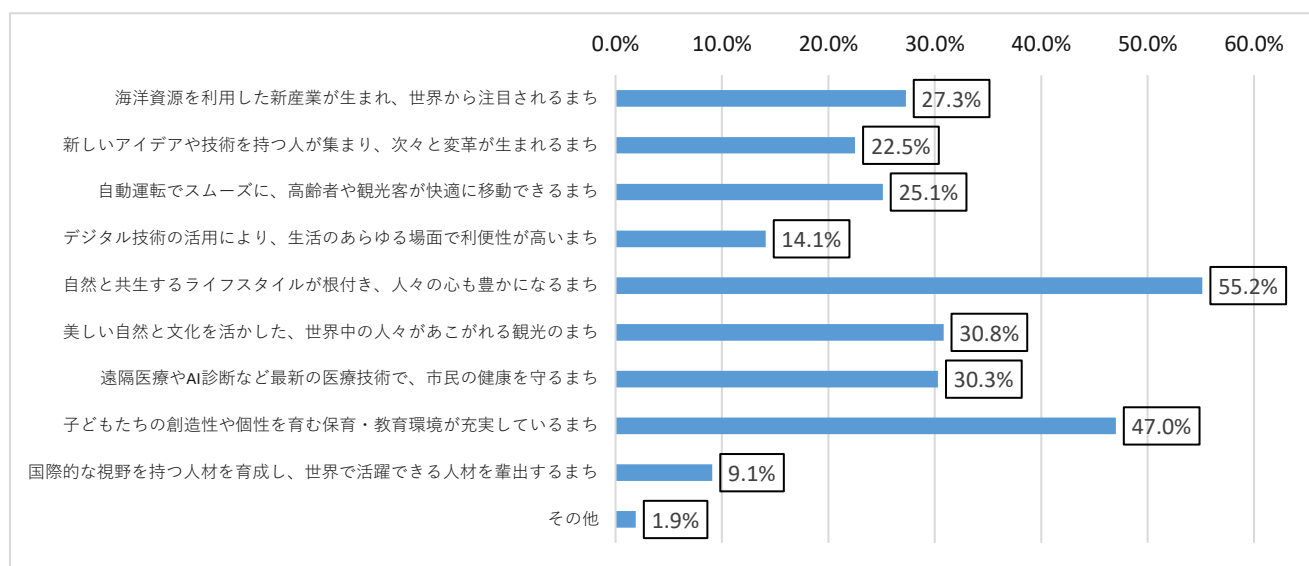
＜「10.その他」（自由記述）の主な内容＞

- ・災害に強く、誰もが安全・安心に暮らせるまち
- ・安定した経済基盤と活力ある産業を持つまち
- ・身近で必要な医療を安心して受けられるまち
- ・美しく整備され、快適でストレスの少ないまち
- ・便利で信頼性の高い生活インフラが整ったまち
- ・高齢者や生活に困窮する人も安心して暮らせる支え合いのまち
- ・豊かな自然環境を大切にし、未来へ継承するまち
- ・若者が魅力を感じ、活躍できるまち
- ・地域資源（空き家等）を有効活用する持続可能なまち
- ・地域間の格差がなく、公平性が保たれたまち

問16. あなたは、将来、志摩市がどんなまちになってほしいですか？
最大3つまで選んでください。（3つまで選択）

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 海洋資源を活用した新産業が生まれ、世界から注目されるまち | 2. 新しいアイデアや技術を持つ人が集まり、次々と変革が生まれるまち |
| 3. 自動運転でスムーズに、高齢者や観光客が快適に移動できるまち | 4. デジタル技術の活用により、生活のあらゆる場面で利便性が高いまち |
| 5. 自然と共生するライフスタイルが根付き、人々の心も豊かになるまち | 6. 美しい自然と文化を活かした、世界中の人々があこがれる観光のまち |
| 7. 遠隔医療やAI診断など最新の医療技術で、市民の健康を守るまち | 8. 子どもたちの創造性や個性を育む保育・教育環境が充実しているまち |
| 9. 国際的な視野を持つ人材を育成し、世界で活躍できる人材を輩出するまち | 10. その他 |

	合計	海洋資源を活用した新産業が生まれ、世界から注目されるまち	新しいアイデアや技術を持つ人が集まり、次々と変革が生まれるまち	自動運転でスムーズに、高齢者や観光客が快適に移動できるまち	デジタル技術の活用により、生活のあらゆる場面で利便性が高いまち	自然と共生するライフスタイルが根付き、人々の心も豊かになるまち	美しい自然と文化を活かした、世界中の人々があこがれる観光のまち	遠隔医療やAI診断など最新の医療技術で、市民の健康を守るまち	子どもたちの創造性や個性を育む保育・教育環境が充実しているまち	国際的な視野を持つ人材を育成し、世界で活躍できる人材を輩出するまち	その他
全体	1,155	315	260	290	163	637	356	350	543	105	22
	100.0%	27.3%	22.5%	25.1%	14.1%	55.2%	30.8%	30.3%	47.0%	9.1%	1.9%



(N=1,155)

5. 災害から生命・財産・まちを守る防災・減災についておたずねします

問17. あなた自身で防災・減災対策に取り組んでいることはありますか？

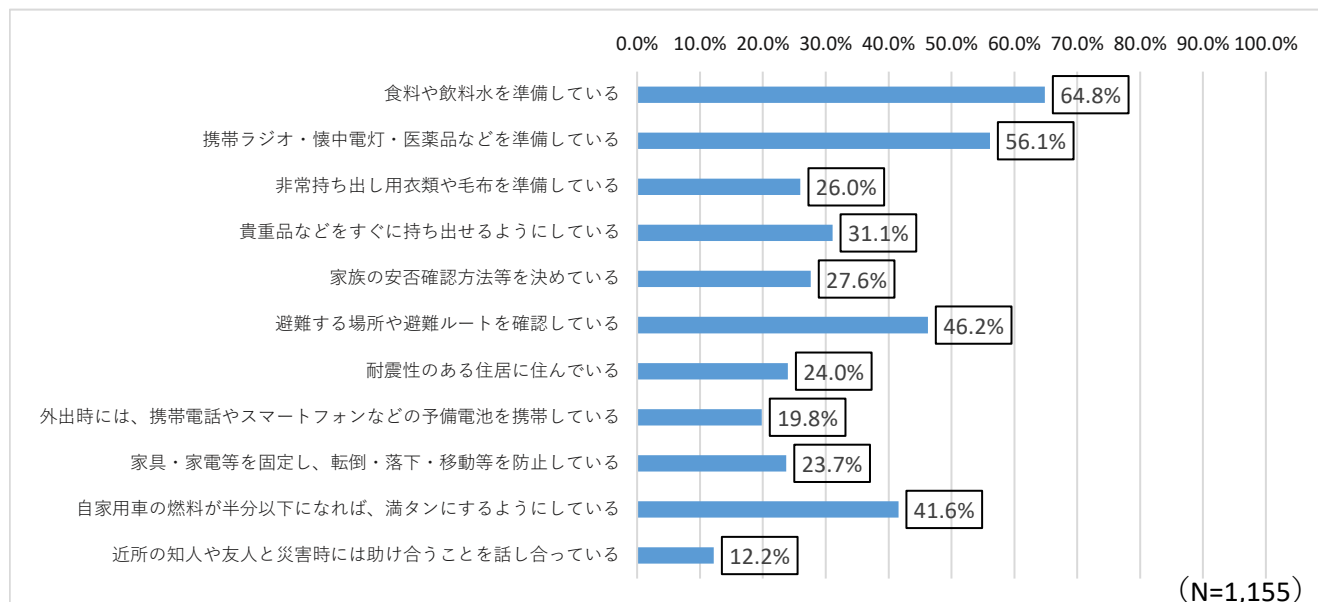
次の具体的な対策のうち、あてはまるものをすべて選んで☑（し点）をつけてください。（いくつでも可）

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| 1.食料や飲料水を準備している | 2.携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などを準備している |
| 3.非常持ち出し用衣類や毛布を準備している | 4.貴重品などをすぐに持ち出せるようにしている |
| 5.家族の安否確認方法等を決めている | 6.避難する場所や避難ルートを確認している |
| 7.耐震性のある住居に住んでいる | 8.外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している |
| 9.家具・家電等を固定し、転倒・落下・移動等を防止している | 10.自家用車の燃料が半分以下になれば、満タンにするようにしている |
| 11.近所の知人や友人と災害時には助け合うことを話し合っている | |

【結果】

個人レベルでの防災対策としては、「食料や飲料水を準備している」(64.8%)、「携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などを準備している」(56.1%)といった物資の備蓄は比較的進んでいます。しかし、「家具・家電等の固定」(23.7%)や「耐震性のある住居に住んでいる」(24.0%)といった住環境の安全対策、「近所の知人等と助け合うことを話し合っている」(12.2%)といった協力体制づくりは、まだ低い水準にとどまっています。

	合計	食料や飲料水を準備している	携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などを準備している	非常持ち出し用衣類や毛布を準備している	貴重品などをすぐに持ち出せるようにしている	家族の安否確認方法等を決めている	避難する場所や避難ルートを確認している	耐震性のある住居に住んでいる	外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	家具・家電等を固定し、転倒・落下・移動等を防止している	自家用車の燃料が半分以下になれば、満タンにするようにしている	近所の知人や友人と災害時には助け合うことを話し合っている
全体	1,155	749	648	300	359	319	534	277	229	274	480	141
	100.0%	64.8%	56.1%	26.0%	31.1%	27.6%	46.2%	24.0%	19.8%	23.7%	41.6%	12.2%



問18. 過去1年間に、お住まいの地域の防災訓練に参加したことがありますか？
(1つ選択)

1.参加した

2.参加しなかった

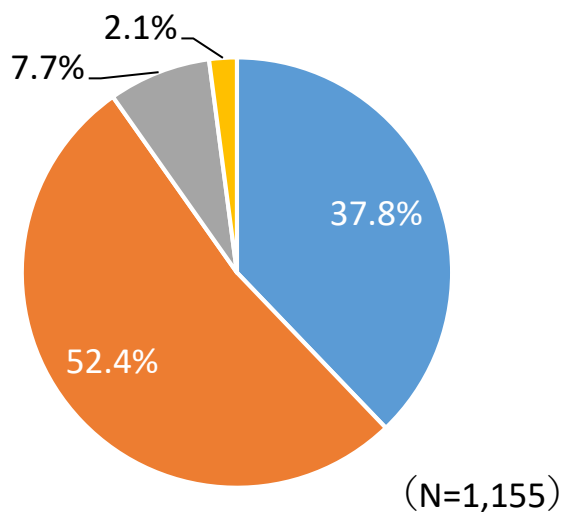
3.防災訓練がなかった

【結果】

過去1年間に地域で行われた防災訓練へ「参加した」人は(37.8%)にとどまり、「参加していない」と回答した人は(52.4%)と半数を超えています。また、「防災訓練がなかった」という地域も(7.7%)存在します。災害への備えとして、訓練参加率の向上と訓練実施体制の強化は、地域防災力向上のための重要な課題と言えるでしょう。

	合計	参加した	参加しなかった	防災訓練がなかった	不明・無回答
全体	1,155	437	605	89	24
	100.0%	37.8%	52.4%	7.7%	2.1%

- 参加した
- 参加していない
- 防災訓練がなかった
- 不明・無回答



問19. 災害に備えて、行政が重点的に取り組むべき防災・減災対策は何だと思いますか？最大3つまで選んでください。（3つまで選択）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1.食料・生活用品等の公的備蓄品の拡充 | 2.災害情報の提供 |
| 3.自主防災組織等の地域防災力の強化 | 4.防災訓練などの防災啓発活動 |
| 5.危険な空き家の取り壊し | 6.住宅や事業所の耐震化 |
| 7.公共施設の耐震化、高台移転 | 8.避難路・一時避難場所の整備 |
| 9.避難所（一定期間の生活場所）の整備 | 10.医療・救護体制の充実 |
| 11.避難所での子どものケア対策 | 12.高齢者、障がい者等要配慮者対策 |
| 13.水道などのライフライン対策 | 14.防潮堤、河川堤防等の整備 |
| 15.道路整備・緊急輸送対策 | 16.ごみ処理・がれき処理 |
| 17.その他 | 18.特にない |

【結果】

災害に備え、行政に最も重点的に取り組むべき対策として市民が最も多く挙げたのは「食料・生活用品等の公的備蓄品の拡充」(50.9%)であり、半数以上が避難生活の基盤となる物資確保を最重要視しています。次いで、「医療・救護体制の充実」(34.6%)、「避難所(一定期間の生活場所)の整備」(31.9%)、「水道などのライフライン対策」(31.6%)がほぼ同率で続き、災害発生直後から避難生活における生命維持に不可欠な情報、インフラ、医療、そして安全な避難経路・場所の確保への強いニーズが示されています。

これらに加え、「危険な空き家の取り壊し」(23.3%)や「災害情報の提供」(18.7%)、「避難所・一時避難場所の整備」(18.3%)なども一定の支持を集めており、地域の防災力向上やインフラ強靱化も重要な課題と認識されています。自由記述では、高齢者や移動困難者への配慮（避難路の手すり、避難所の椅子）、ペット同行避難、気候変動（猛暑・厳冬期）への対応といった、より個別具体的な要望も見られました。全体として、公的な備え（物資、インフラ、医療）の充実と、安全な避難環境の確保、そして迅速・正確な情報伝達が強く求められています。

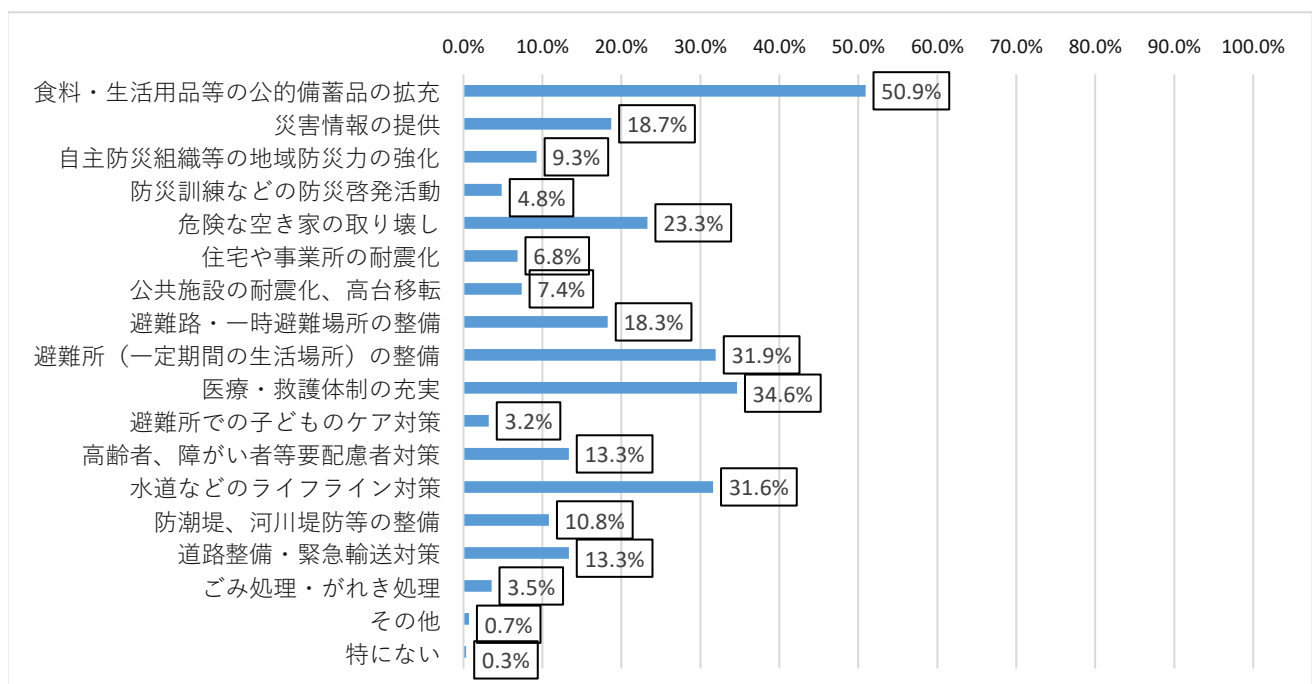
＜「17.その他」（自由記述）の主な内容＞

- ・高齢者や移動が困難な方に向けた、避難路の手すり・避難所の椅子設置などの環境整備
- ・災害時におけるSNSを活用した情報発信・呼びかけの強化
- ・ペットとの同行避難が可能な避難スペースの確保・整備
- ・猛暑や厳冬期における避難生活を想定した、空調設備等の準備・対策
- ・避難タワーの建設
- ・災害時の廃棄物削減のための平時からの不用品整理・処分
- ・避難行動に備えるための、個々人における体力維持・向上

問19. 災害に備えて、行政が重点的に取り組むべき防災・減災対策は何だと思いますか？最大3つまで選んでください。（3つまで選択）

	合計	食料・生活用品等の 公的備蓄品の拡充	災害情報の提供	自主防災組織等の 地域防災力の強化	防災訓練などの防災 啓発活動	危険な空き家の 取り壊し	住宅や事業所の 耐震化	公共施設の耐震化、 高台移転	避難路・一時避難 場所の整備
全体	1,155	588	216	107	56	269	79	85	211
	100.0%	50.9%	18.7%	9.3%	4.8%	23.3%	6.8%	7.4%	18.3%

避難所（一定期間の 生活場所）の整備	医療・救護体制の 充実	避難所での子どもの ケア対策	高齢者、障がい者等 要配慮者対策	水道などのライフ ライン対策	防潮堤、河川堤防等 の整備	道路整備・緊急輸送 対策	ごみ処理・がれき 処理	その他	特にない
369	400	37	154	365	125	154	41	8	4
31.9%	34.6%	3.2%	13.3%	31.6%	10.8%	13.3%	3.5%	0.7%	0.3%



(N=1,155)

6. 「SDGs（エスディーゼーズ）※」の取り組みについておたずねします

※「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称

問20. あなたは、SDGsについて、どのくらいご存じですか？（1つ選択）

1.SDGsという言葉も内容も大体知っている

2.SDGsという言葉聞いたことはあるが、内容はわからない

3.SDGsという言葉も内容もわからない

【結果】

SDGsについて、「言葉も内容も大体知っている」人は(59.2%)と過半数ですが、「言葉は聞いたことはあるが、内容はわからない」(26.2%)、「言葉も内容もわからない」(11.3%)を合わせると37.5%にのびます。この結果から、SDGsがまだ十分に浸透しているとは言えません。したがって、内容の理解促進に向けた啓発活動が今後も重要と考えられます。

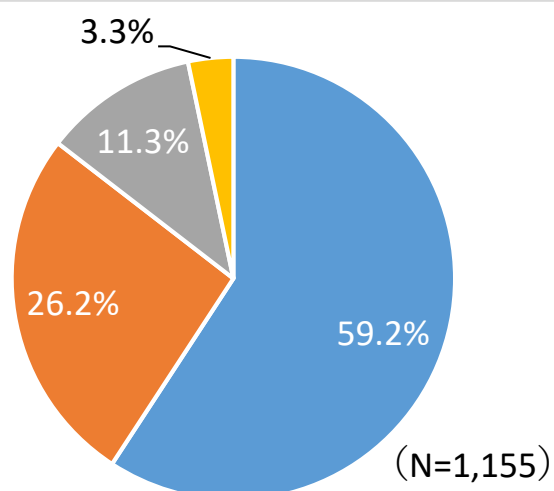
	合計	もS 内D 容G sと いう 言葉 も大 体知 って い る	聞S 内いD 容たG はこと はわか らあ る言 葉を	S 内D 容G sと わか ら ない 言 葉も	不明・無回答
全体	1,155	684	303	130	38
	100.0%	59.2%	26.2%	11.3%	3.3%

■ SDGsという言葉も内容も大体知っている

■ SDGsという言葉聞いたことはあるが、内容はわからない

■ SDGsという言葉も内容もわからない

■ 不明・無回答



問21. あなたは普段、SDGsを意識して何らかの活動に取り組んでいますか？
(1つ選択)

1.個人として取り組んでいる

2.所属先（企業、団体、学校等）で
取り組んでいる

3.今後、取り組みたいと思っている

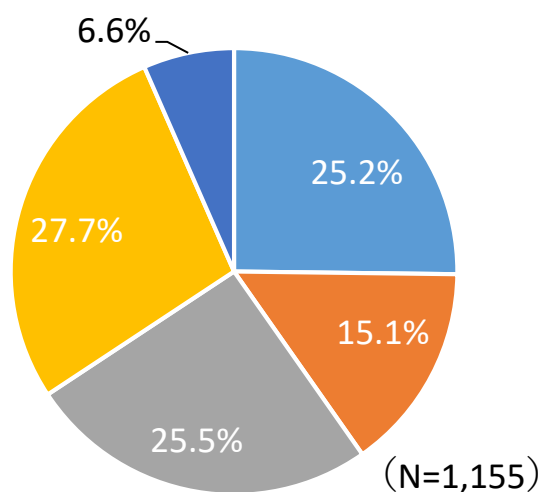
4.取り組む予定はない

【結果】

SDGsを意識した活動について、「個人として取り組んでいる」(25.2%)、「所属先(企業、団体、学校等)で取り組んでいる」(15.1%)を合わせて40.3%が何らかの形で関与しています。しかし、「取り組む予定はない」(27.7%)も約3割おり、「今後、取り組みたいと思っている」(25.5%)という意欲層への具体的な働きかけが求められます。

	合計	個人として 取り組んで いる	所属先（企業、 学校等）で 取り組んで いる	今後、 取り組む たいと 思っている	取り組む 予定は ない	不明・無 回答
全体	1,155	291	174	294	320	76
	100.0%	25.2%	15.1%	25.5%	27.7%	6.6%

- 個人として取り組んでいる
- 所属先（企業、団体、学校等）で取り組んでいる
- 今後、取り組みたいと思っている
- 取り組む予定はない
- 不明・無回答



7. 行政のデジタル化についておたずねします

問22. 市役所の市民課や支所では「書かない窓口」システムの導入など、デジタル技術の活用を進めています。証明書発行等の窓口サービスは以前よりも良くなっていると思いますか？（1つ選択）

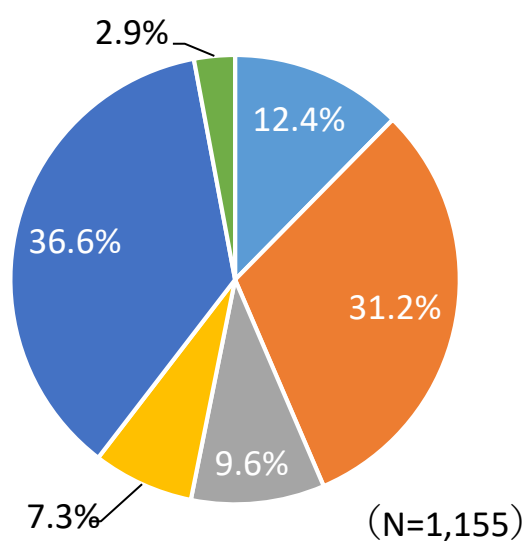
- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. と思う | 2. どちらかといえばと思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない（市役所・支所に行っていない） | |

【結果】

市役所・支所の「書かない窓口」のようなデジタル技術を活用した窓口サービスの向上について、「と思う」と答えた人が(12.4%)、「どちらかといえばと思う」と答えた人が(31.2%)で、肯定的な評価は合わせて43.6%でした。一方で、「わからない（市役所・支所に行っていない）」と答えた人が(36.6%)と多く、利用促進と効果の実感が得られるような改善が今後の課題と言えるでしょう。

	合計	と思う	どちらか さうか さうとい ええ	どちら さうか さうとい ええ	さう 思わ ない	わから ない (市役所・支所 に行っ ていな い)	不明・無 回答
全体	1,155	143	360	111	84	423	34
	100.0%	12.4%	31.2%	9.6%	7.3%	36.6%	2.9%

- と思う
- どちらかといえばと思う
- どちらかといえばそう思わない
- と思う思わない
- わからない（市役所・支所に行っていない）
- 不明・無回答



問23. あなたは、行政手続きがデジタル化やオンライン化された場合に、
利用したいと思いますか？（1つ選択）

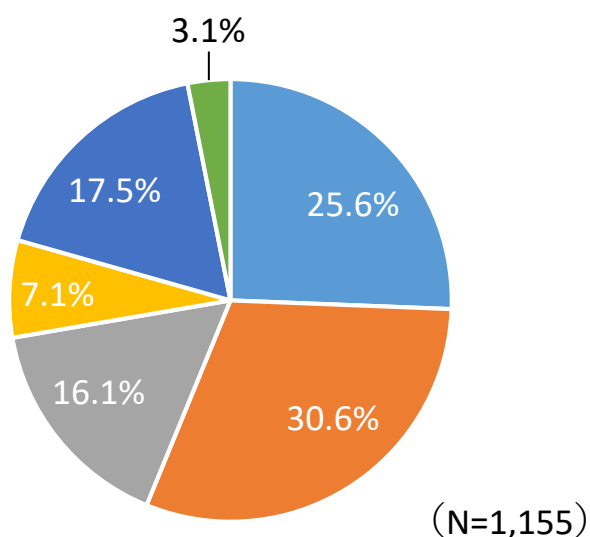
- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1.利用したい | 2.どちらかといえば利用したい |
| 3.どちらかといえば利用したくない | 4.利用したくない |
| 5.わからない | |

【結果】

行政手続きがデジタル化・オンライン化された場合の利用意向について、「利用したい」と答えた人が(25.6%)、「どちらかといえば利用したい」と答えた人が(30.6%)で、合わせて56.2%が前向きな意向を示しています。しかし、「どちらかといえば利用したくない」と答えた人が(16.1%)、「利用したくない」と答えた人が(7.1%)おり、否定的な意見も合計で23.2%存在します。また、「わからない」と答えた人も(17.5%)おり、利便性向上と同時に、利用への不安解消やサポート体制の充実が求められます。

	合計	利用したい	どちらかといえば 利用したい	どちらかといえば 利用したくない	利用したくない	わからない	不明・無回答
全体	1,155	296	353	186	82	202	36
	100.0%	25.6%	30.6%	16.1%	7.1%	17.5%	3.1%

- 利用したい
- どちらかといえば利用したい
- どちらかといえば利用したくない
- 利用したくない
- わからない
- 不明・無回答



問24. 行政のデジタル化について、今後、市はどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか？
必要だと思う順番に、最大3つまで選んでください

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1.申請や申し込みなど、各種手続きのオンライン化 | 2.オンラインでの相談・面談 |
| 3.デジタル技術を利用した窓口の円滑化（書かない窓口など） | 4.施設等使用料・証明書発行手数料などの支払いのキャッシュレス化 |
| 5.SNSやアプリなどを利用した情報発信の強化 | 6.公衆無線LAN（Free-Wi-fi）の公共施設への設備拡充 |
| 7.デジタルに不慣れな方への支援 | 8.その他 |
| 9.デジタル化に取り組む必要はない | |

【結果】

行政のデジタル化で今後市が力を入れるべき点として、最も優先度が高いとされたのは「申請や申し込みなど、各種手続きのオンライン化」（1番目36.0%）でした。市民が時間や場所を選ばずに手続きを行える利便性向上への強い期待がうかがえます。次いで、「デジタルに不慣れな方への支援」（1番目26.3%）が重視されており、高齢者などデジタル機器の利用に不安がある層への配慮が不可欠であるとの認識が示されています。この支援の重要性は3番目の優先事項としても最多（30.2%）であり、デジタルデバйд対策が極めて重要視されています。

2番目、3番目の優先事項を見ると、「デジタル技術を利用した窓口の円滑化（書かない窓口など）」や「キャッシュレス決済の導入」、「公衆無線LAN（Wi-Fi）の拡充」なども挙げられており、手続きのオンライン化だけでなく、窓口業務の効率化や支払い方法の多様化、通信環境整備といった多角的なデジタル化へのニーズが存在します。自由記述では、セキュリティ強化や個人情報保護、従来のアナログ手法との柔軟な併用を求める声も多く、利便性追求と同時に安全性と誰一人取り残さないサポート体制の両立が強く求められていると言えます。

<「8. その他」（自由記述）の主な内容>

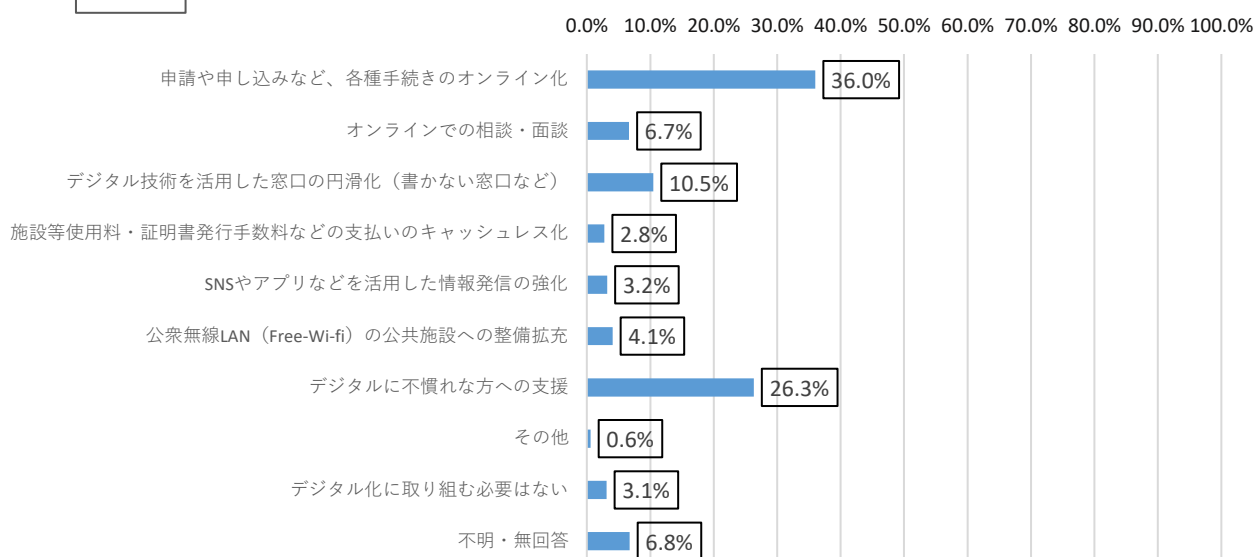
- ・デジタルデバйдへの配慮と支援（丁寧な支援（講習会、相談窓口等）や代替手段（従来の対面・書類手続き）の確保）が必要
- ・複雑な手続きや相談については、対面での丁寧な対応やアナログな手段も引き続き維持・併用し、利用者が選択できるようにすべき
- ・市の高齢化率などを考慮し、一気に全面的なデジタル化を進めるのではなく、市民の理解と適応状況を見ながら、段階的かつ慎重に進めるべき
- ・市民向けサービスだけでなく、市役所の業務効率化や生産性向上を図るべき
- ・デジタル化の目的・内容の明確化と丁寧な説明が必要
- ・行政の危機管理体制を構築し、市民の信頼を確保する必要がある
- ・身近な行政窓口である支所の機能は維持・強化し、地域住民の利便性を確保すべき
- ・デジタル化への漠然とした不安・苦手意識への対応（心理的なハードルを下げるための啓発など）

問24. 行政のデジタル化について、今後、市はどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか？
必要だと思う順番に、最大3つまで選んでください

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1.申請や申し込みなど、各種手続きのオンライン化 | 2.オンラインでの相談・面談 |
| 3.デジタル技術を利用した窓口の円滑化（書かない窓口など） | 4.施設等使用料・証明書発行手数料などの支払いのキャッシュレス化 |
| 5.SNSやアプリなどを利用した情報発信の強化 | 6.公衆無線LAN（Free-Wi-fi）の公共施設への設備拡充 |
| 7.デジタルに不慣れな方への支援 | 8.その他 |
| 9.デジタル化に取り組む必要はない | |

1 番 目	合 計	申請や申し込みなど、各種手続きのオンライン化	オンラインでの相談・面談	デジタル技術を利用した窓口の円滑化（書かない窓口など）	施設等使用料・証明書発行手数料などの支払いのキャッシュレス化	SNSやアプリなどを利用した情報発信の強化	公衆無線LAN（Free-Wi-fi）の公共施設への設備拡充	デジタルに不慣れな方への支援	その他	デジタル化に取り組む必要はない	不明・無回答
全体	1,155	416	77	121	32	37	47	304	7	36	78
	100.0%	36.0%	6.7%	10.5%	2.8%	3.2%	4.1%	26.3%	0.6%	3.1%	6.8%

1番目



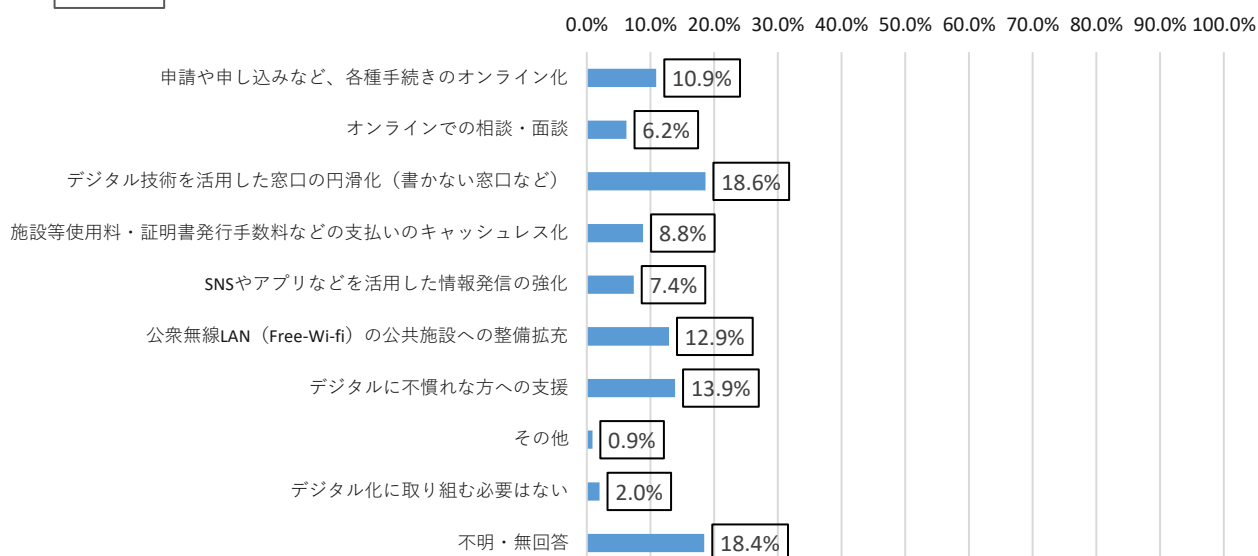
(N=1,155)

問24. 行政のデジタル化について、今後、市はどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか？
必要だと思う順番に、最大3つまで選んでください

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1.申請や申し込みなど、各種手続きのオンライン化 | 2.オンラインでの相談・面談 |
| 3.デジタル技術を利用した窓口の円滑化（書かない窓口など） | 4.施設等使用料・証明書発行手数料などの支払いのキャッシュレス化 |
| 5.SNSやアプリなどを利用した情報発信の強化 | 6.公衆無線LAN（Free-Wi-fi）の公共施設への設備拡充 |
| 7.デジタルに不慣れな方への支援 | 8.その他 |
| 9.デジタル化に取り組む必要はない | |

2番目	合計	申請や申し込みなど、各種手続きのオンライン化	オンラインでの相談・面談	デジタル技術を利用した窓口の円滑化（書かない窓口など）	施設等使用料・証明書発行手数料などの支払いのキャッシュレス化	SNSやアプリなどを利用した情報発信の強化	公衆無線LAN（Free-Wi-fi）の公共施設への設備拡充	デジタルに不慣れな方への支援	その他	デジタル化に取り組む必要はない	不明・無回答
全体	1,155	126	72	215	102	85	149	160	10	23	213
	100.0%	10.9%	6.2%	18.6%	8.8%	7.4%	12.9%	13.9%	0.9%	2.0%	18.4%

2番目



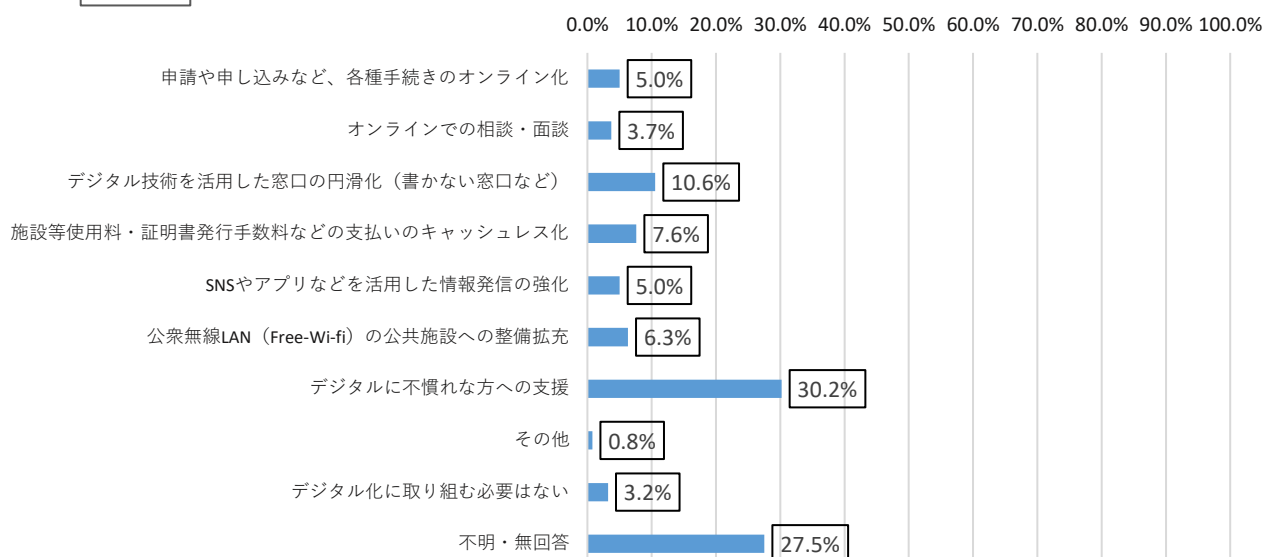
(N=1,155)

問24. 行政のデジタル化について、今後、市はどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか？
必要だと思う順番に、最大3つまで選んでください

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1.申請や申し込みなど、各種手続きのオンライン化 | 2.オンラインでの相談・面談 |
| 3.デジタル技術を利用した窓口の円滑化（書かない窓口など） | 4.施設等使用料・証明書発行手数料などの支払いのキャッシュレス化 |
| 5.SNSやアプリなどを利用した情報発信の強化 | 6.公衆無線LAN（Free-Wi-fi）の公共施設への設備拡充 |
| 7.デジタルに不慣れな方への支援 | 8.その他 |
| 9.デジタル化に取り組む必要はない | |

3番目	合計	申請や申し込みなど、各種手続きのオンライン化	オンラインでの相談・面談	デジタル技術を利用した窓口の円滑化（書かない窓口など）	施設等使用料・証明書発行手数料などの支払いのキャッシュレス化	SNSやアプリなどを利用した情報発信の強化	公衆無線LAN（Free-Wi-fi）の公共施設への設備拡充	デジタルに不慣れな方への支援	その他	デジタル化に取り組む必要はない	不明・無回答
全体	1,155	58	43	122	88	58	73	349	9	37	318
	100.0%	5.0%	3.7%	10.6%	7.6%	5.0%	6.3%	30.2%	0.8%	3.2%	27.5%

3番目



(N=1,155)

8. 市からの広報手段についておたずねします

問25. あなたは普段、市が行っている事業や提供しているサービス等に関する情報を、どんな手段によって知ることが多いですか？
情報を多く得ていると感じる順番に、最大3つまで選んでください。

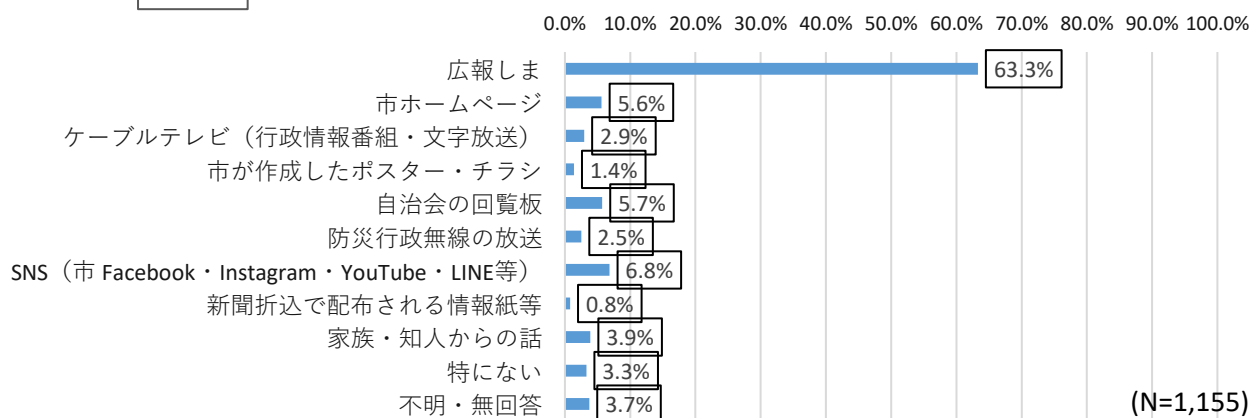
- | | |
|---|------------------|
| 1.広報しま | 2.市ホームページ |
| 3.ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送） | 4.市が作成したポスター・チラシ |
| 5.自治会の回覧板 | 6.防災行政無線の放送 |
| 7.SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等） | 8.新聞折込で配布される情報紙等 |
| 9.家族・知人からの話 | 10.特になし |

【結果】

市からの情報入手手段として最も多いのは「広報しま」で、1番目に挙げた人が(63.3%)と圧倒的です。次いで重要な情報源は「自治会の回覧板」(2番目に挙げた人が29.5%)、「家族・知人からの話」(3番目17.4%)です。SNS(Facebook, Instagram, YouTube, LINE等)を1番目に挙げた人は(6.8%)にとどまり、依然として紙媒体と地域コミュニティ経由の情報伝達が中心的な役割を担っています。

1番目	合計	広報しま	市ホームページ	ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送）	市が作成したポスター・チラシ	自治会の回覧板	防災行政無線の放送	SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等）	新聞折込で配布される情報紙等	家族・知人からの話	特になし	不明・無回答
全体	1,155	731	65	34	16	66	29	79	9	45	38	43
	100.0%	63.3%	5.6%	2.9%	1.4%	5.7%	2.5%	6.8%	0.8%	3.9%	3.3%	3.7%

1番目

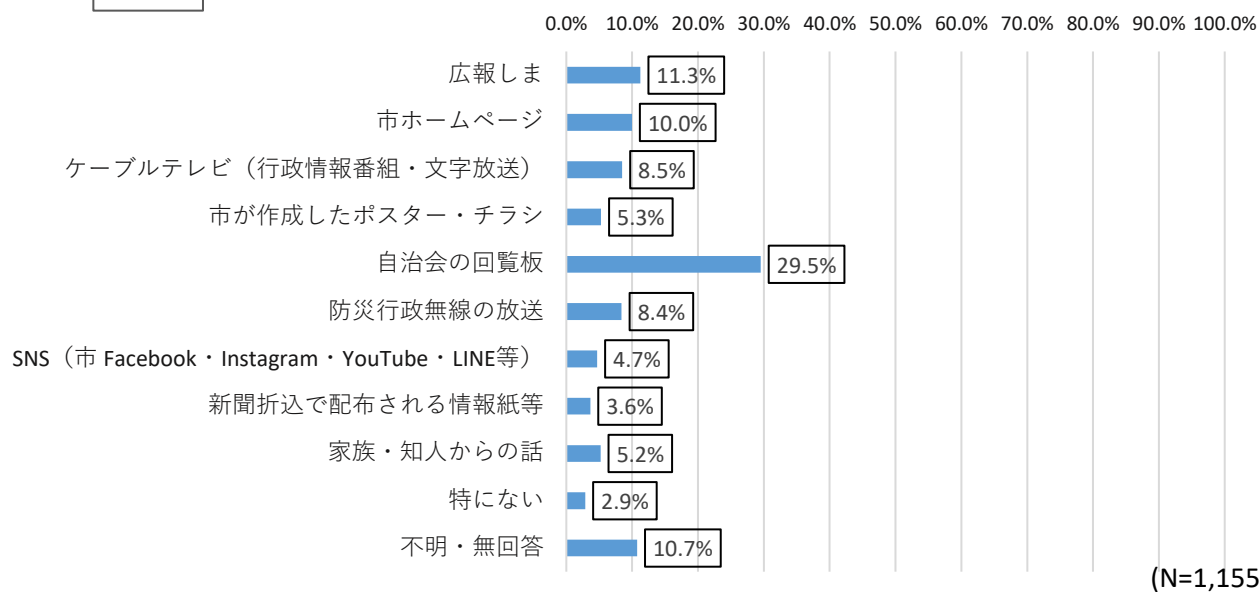


問25. あなたは普段、市が行っている事業や提供しているサービス等に関する情報を、どんな手段によって知ることが多いですか？
情報を多く得ていると感じる順番に、最大3つまで選んでください。

- | | |
|---|------------------|
| 1.広報しま | 2.市ホームページ |
| 3.ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送） | 4.市が作成したポスター・チラシ |
| 5.自治会の回覧板 | 6.防災行政無線の放送 |
| 7.SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等） | 8.新聞折込で配布される情報紙等 |
| 9.家族・知人からの話 | 10.特になし |

2番目	合計	広報しま	市ホームページ	ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送）	市が作成したポスター・チラシ	自治会の回覧板	防災行政無線の放送	SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等）	新聞折込で配布される情報紙等	家族・知人からの話	特になし	不明・無回答
全体	1,155	130	115	98	61	341	97	54	42	60	33	124
	100.0%	11.3%	10.0%	8.5%	5.3%	29.5%	8.4%	4.7%	3.6%	5.2%	2.9%	10.7%

2番目

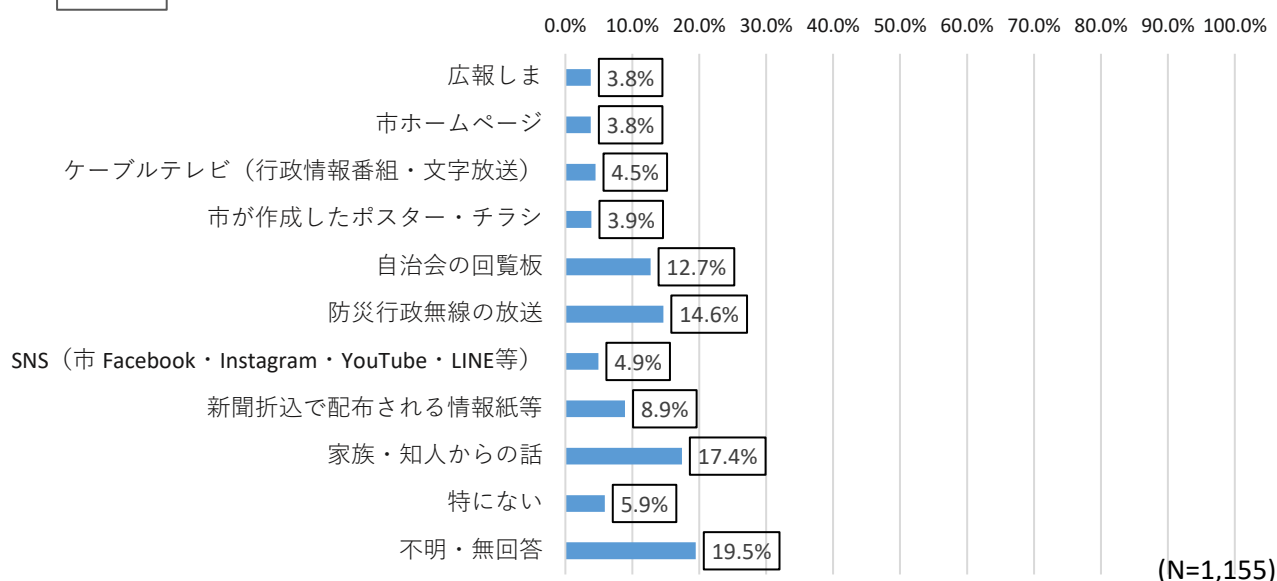


問25. あなたは普段、市が行っている事業や提供しているサービス等に関する情報を、どんな手段によって知ることが多いですか？
情報を多く得ていると感じる順番に、最大3つまで選んでください。

- | | |
|---|------------------|
| 1.広報しま | 2.市ホームページ |
| 3.ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送） | 4.市が作成したポスター・チラシ |
| 5.自治会の回覧板 | 6.防災行政無線の放送 |
| 7.SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等） | 8.新聞折込で配布される情報紙等 |
| 9.家族・知人からの話 | 10.特になし |

3番目	合計	広報しま	市ホームページ	ケーブルテレビ（行政情報番組・文字放送）	市が作成したポスター・チラシ	自治会の回覧板	防災行政無線の放送	SNS（市 Facebook・Instagram・YouTube・LINE等）	新聞折込で配布される情報紙等	家族・知人からの話	特になし	不明・無回答
全体	1,155	44	44	52	45	147	169	57	103	201	68	225
	100.0%	3.8%	3.8%	4.5%	3.9%	12.7%	14.6%	4.9%	8.9%	17.4%	5.9%	19.5%

3番目



問26. あなたは、市の広報活動により、市からのお知らせなどの情報が伝わっていると感じますか？（1つ選択）

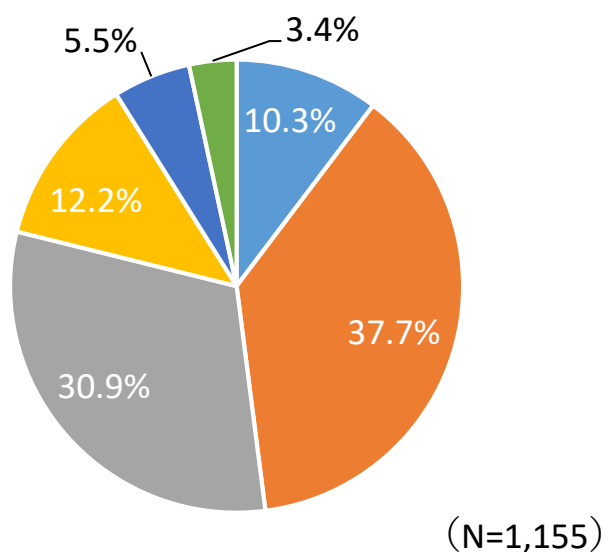
- | | |
|-------------|----------------|
| 1.感じる | 2.どちらかといえば感じる |
| 3.どちらともいえない | 4.どちらかといえば感じない |
| 5.感じない | |

【結果】

市の広報活動によって情報が伝わっているかについては、「感じる」(10.3%)、「どちらかといえば感じる」(37.7%)を合わせて48.0%が肯定的な評価です。しかし、「どちらともいえない」が(30.9%)と多くあり、「どちらかといえば感じない」(12.2%)、「感じない」(5.5%)も存在し、情報伝達の効果や分かりやすさには改善の余地があると考えられます。

	合計	感じる	どちらかといえば感じる	どちらともいえない	どちらかといえば感じない	感じない	不明・無回答
全体	1,155	119	435	357	141	64	39
	100.0%	10.3%	37.7%	30.9%	12.2%	5.5%	3.4%

- 感じる
- どちらかといえば感じる
- どちらともいえない
- どちらかといえば感じない
- 感じない
- 不明・無回答



問27. あなたは、スマートフォンを使用していますか？（1つ選択）

1.使用している

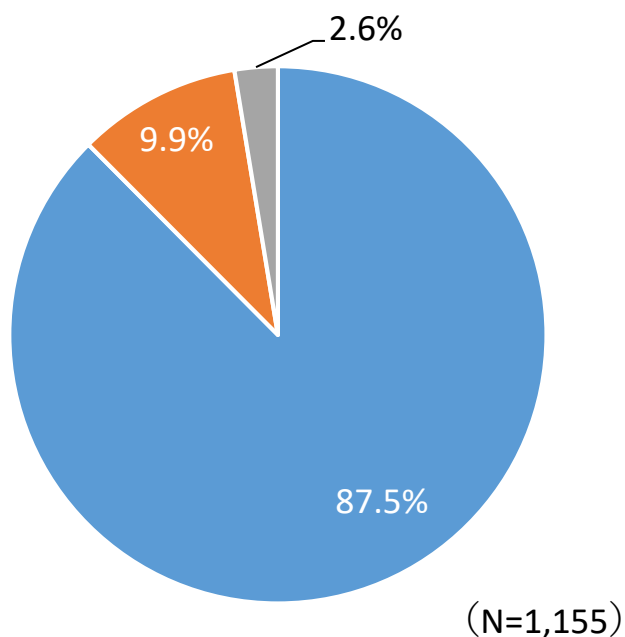
2.使用していない

【結果】

スマートフォンの利用率は(87.5%)であり、市民の大多数が利用している状況です。これは、スマートフォンアプリ(LINE等)やウェブサイトを活用した情報提供、オンライン手続きなどのデジタルサービスを展開する上での良好な基盤があることを示しています。ただし、非利用者(9.9%)への配慮も必要です。

	合計	使用している	使用していない	不明・無回答
全体	1,155	1,011	114	30
	100.0%	87.5%	9.9%	2.6%

- 使用している
- 使用していない
- 不明・無回答



問28. あなたは、次のSNSを日ごろ使用していますか？（それぞれ1つ選択）

- | | | |
|----------------|---------|--------|
| ①【X（旧Twitter）】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |
| ②【Instagram】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |
| ③【Facebook】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |
| ④【YouTube】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |
| ⑤【LINE】 | ⇒ 1. はい | 2. いいえ |

【結果】

日常的に利用しているSNSは、LINE(78.7%)とYouTube(56.1%)が突出して高い利用率を示しています。次いでInstagram(35.2%)、X(旧Twitter)(19.7%)、Facebook(14.3%)の順となっています。市の情報発信においては、特にLINEとYouTubeの活用が多く、多くの市民に情報を届ける際に効果的であると考えられます。

	X（旧Twitter）				Instagram			
	合計	はい	いいえ	不明・無回答	合計	はい	いいえ	不明・無回答
全体	1,155	227	845	83	1,155	407	663	85
	100.0%	19.7%	73.2%	7.2%	100.0%	35.2%	57.4%	7.4%

	Facebook				Youtube			
	合計	はい	いいえ	不明・無回答	合計	はい	いいえ	不明・無回答
全体	1,155	165	905	85	1,155	648	429	78
	100.0%	14.3%	78.4%	7.4%	100.0%	56.1%	37.1%	6.8%

	LINE			
	合計	はい	いいえ	不明・無回答
全体	1,155	909	174	72
	100.0%	78.7%	15.1%	6.2%

問28. あなたは、次のSNSを日ごろ使用していますか？（それぞれ1つ選択）

- ①【X（旧Twitter）】
- ②【Instagram】
- ③【Facebook】
- ④【YouTube】
- ⑤【LINE】

⇒ 1. はい
⇒ 1. はい
⇒ 1. はい
⇒ 1. はい
⇒ 1. はい

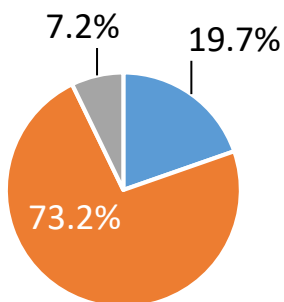
2. いいえ
2. いいえ
2. いいえ
2. いいえ
2. いいえ

X（旧Twitter）

■ はい

■ いいえ

■ 不明・無回答



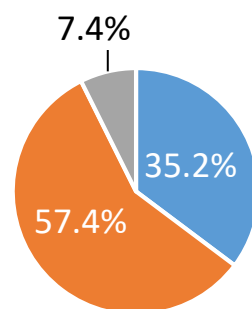
(N=1,155)

Instagram

■ はい

■ いいえ

■ 不明・無回答



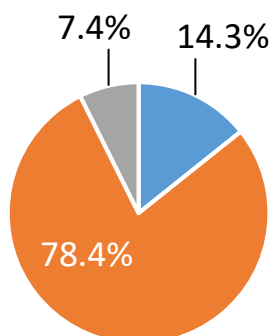
(N=1,155)

Facebook

■ はい

■ いいえ

■ 不明・無回答



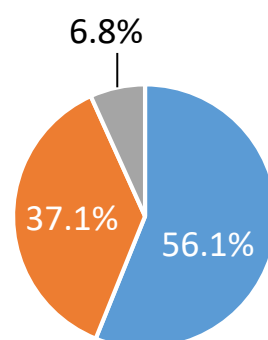
(N=1,155)

YouTube

■ はい

■ いいえ

■ 不明・無回答



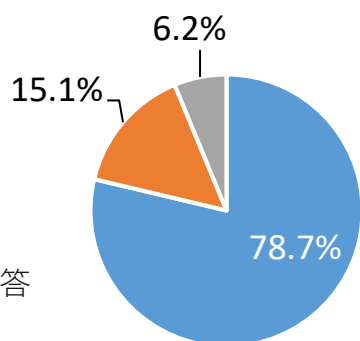
(N=1,155)

LINE

■ はい

■ いいえ

■ 不明・無回答



(N=1,155)

問29. あなたは、希望する情報等を登録することで、自分に合った情報を受け取ることができる「志摩市LINE公式アカウント」を知っていますか？
(1つ選択)

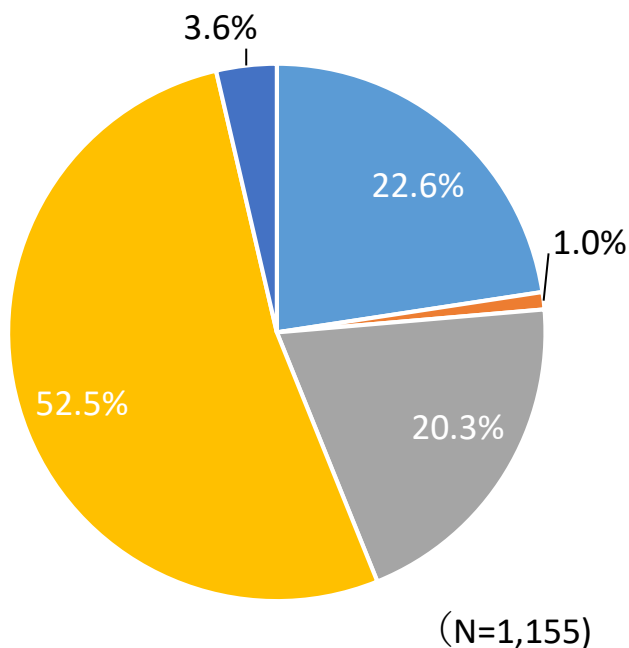
- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1.知っている（友達登録している） | 2.知っている（友達登録していたがやめた） |
| 3.知っている（友達登録していない） | 4.知らない |

【結果】

市のLINE公式アカウントについて、「知っている(友だち登録している)」(22.6%)、「知っている(友だち登録していない)」(20.3%)などを合わせても認知率は43.9%にとどまり、「知らない」が52.5%と半数を超えています。アカウントの存在自体の周知と、友だち登録によるメリットをアピールし、利用者を増やす必要があります。

	合計	（知っている） （友達登録している）	（知っている） （友だち登録していたがやめた）	（知っている） （友達登録していない）	知らない	不明・無回答
全体	1,155	261	12	234	606	42
	100.0%	22.6%	1.0%	20.3%	52.5%	3.6%

- 知っている（友達登録している）
- 知っている（友達登録していたがやめた）
- 知っている（友達登録していない）
- 知らない
- 不明・無回答



9. 志摩市のまちづくり全般へのご意見についておたずねします

問30. 今後、志摩市に特に力を入れてほしい取組や、本アンケート調査に対する感想、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。（自由記載）

【結果】

最も意見が集中したのは「医療・福祉・子育て支援」(18.1%)で、産婦人科・小児科等の専門医不足や休日・夜間診療への不安、高齢者の移動手段確保や見守り、経済的支援を含む子育て支援の充実を求める声強いことがうかがえます。
次いで「インフラ整備(道路・交通・生活基盤)」(15.3%)が多く、生活道路や歩道の整備・維持管理（舗装、除草、街灯等）、公共交通の利便性向上（便数、運賃）、上下水道整備への要望が目立ちます。
さらに「雇用創出・産業振興」(12.5%)も重要なテーマであり、企業誘致や若者雇用の確保、賃金水準への不満、漁業・農業など一次産業の衰退への懸念が示されました。
このほか、環境問題（特に太陽光パネル設置による景観・自然破壊への強い懸念、ゴミ問題）、防災対策（避難経路・避難所整備）、行政運営の効率化や職員対応、財政・税負担に関する意見も多く見られ、市民の関心は生活の基盤、安全・安心、経済的安定性に強く向けられていることがわかります。

(n=426)

カテゴリ	割合	項目	主な意見内容（具体例）
医療・福祉・子育て支援	18.1%	医療体制	専門科（特に産婦人科、小児科、皮膚科）不足、休日・夜間診療の確保、県立病院の機能強化（いつでも診察できる体制、経営改善）、アクセス困難（特に高齢者）、医療費負担軽減（がん治療費助成など）
		高齢者支援	移動手段確保（デマンド交通の乗り場まで遠い、バス無料化希望、移動販売）、見守り（独居の高齢者の話し相手が必要、民生委員の活動が十分でない）、介護サービス・施設充実、健康維持施設（プール廃止は残念）、デジタルデバインド（ついていけない、講習会を希望）
		子育て支援	環境整備（給食無償化はありがたい、保育・教育の充実、公園が少なくなった、児童クラブを高台へ、屋内遊び場）、経済的支援（給付金、割引、無償化）、産休育休（土日祝託児）、支援の偏りへの意見（現役世代へも）
		福祉全般	障がい者支援（雇用、助成、バリアフリー）、生活保護（不正受給への不満）
インフラ整備 (道路・交通・生活基盤)	15.3%	道路整備	生活道路/通学路/緊急路の整備・拡張（救急車が通れるように）、歩道整備（雑草除去、こけですべる）、維持管理（舗装ボコボコ、白線見えにくい、側溝、街灯暗い、危険）、危険箇所（ブロック塀、樹木が運転していてもあぶない、竹林が倒れて困る）、広域交通網（高速道路の延伸希望）
		公共交通	利便性向上（バス・電車の本数少ない、料金高い、デマンド交通の停留所増やして）、車依存（ないと生活できない、免許返納後が不安）、市営バス提案
		生活基盤	上下水道整備（井戸水、汲み取りの改善）、防災行政無線（聞こえない）、公共トイレの不足

問30. 今後、志摩市に特に力を入れてほしい取組や、本アンケート調査に対するご感想、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。（自由記載）

カテゴリ	割合	項目	主な意見内容（具体例）
雇用創出・産業振興	12.5%	雇用確保	企業誘致（IT企業、工場等の大規模雇用を）、若者定着（市外流出防ぐ、戻って来たくなるまち）、賃金水準（安い）、高齢者・定年後も働ける環境
		一次産業	漁業衰退（海産物とれず、真珠育たず、あおさ・伊勢エビの漁獲量減）、磯焼け対策、農業（後継者不足、耕作放棄地が多い）、生産体制構築
		産業振興全般	新産業創出、自営業支援、観光・水産（将来性に乏しく発想の転換必要）
環境・景観保全	11.1%	太陽光パネル	景観破壊（見かける度に悲しくなる、台無し）、自然破壊（森林伐採）、規制強化・設置中止要望（ストップして欲しい）、災害リスク（火事、津波）への強い懸念、「国立公園なのに」という意見
		ゴミ問題	不法投棄対策強化、ポイ捨て・マナー向上（犬のフンが公園にもたくさん）、収集改善（カレンダー分かりやすく）、資源拠点ステーション提案、焼却熱利用提案
		自然環境	保護・再生（きれいな川・海に戻して）、美観維持（道路脇など雑草・樹木のかり込み）
		その他	カキ殻の活用提案
防災・安全対策	9.7%	災害対策	避難経路整備（木が倒れ通れない、石積み危険）、避難所整備（トイレない、冷暖房完備、備蓄、仮設住宅用地確保、ペット同伴スペース）、高台移転、防災意識・訓練、防災無線改善
		防犯対策	街灯増設（暗くて危険）、防犯カメラの設置要望、パトロール強化
		その他安全	危険物（空き家、古いブロック塀、古い看板）の撤去・指導、管理されない竹林対策、高齢者運転対策
行政サービス・運営・財政	9.7%	行政運営/職員	職員対応改善（不親切、笑顔がない、雑談目立つ）、効率化（人員多すぎ、残業時間）、議員数への疑問、成果可視化、情報公開、縦割り、地域格差（旧町意識）、アイデア箱提案、「アクション第一」の要望
		デジタル化	推進への期待と不安（高齢者はついていけない、サポート・講習会必要）、LINE以外（専用アプリ等）の情報発信、手続きオンライン化、不要論も
		財政/税金	公共料金（水道代）・税負担軽減（減税して）、キャッシュレス納付、予算配分（市民優先）、公平性（非課税世帯優遇への不満）
		情報提供	伝達手段改善（行政放送聞こえない、SNS、メール活用等）、分かりやすさ向上

問30. 今後、志摩市に特に力を入れてほしい取組や、本アンケート調査に対する感想、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。（自由記載）

カテゴリ	割合	項目	主な意見内容（具体例）
観光振興	8.3%	戦略/方向性	観光注力（施設整備、イベント、情報発信）、アクセス改善（高速延伸、誘客）、魅力向上（おかげ横丁のような拠点、産直市場、温泉施設）、オーバーツーリズム懸念、外国人対応（言語、マナー、交通）、住民も楽しめる工夫、不要論（企業誘致優先）も一部あり
		観光地整備	主要観光地（賢島駅周辺、展望台、灯台）の整備、観光地の清掃・美観維持（草ぼうぼう）
空き家・空き地対策	6.9%	問題認識	景観悪化、危険（瓦落下）、管理不全（持ち主不明）への深刻な懸念
		対策強化	強制解体、買取制度、空き家バンク活用、所有者への指導強化
		活用提案	避難所、地域拠点など（空き校舎、旧保育園など）
		その他	倉庫代わり利用の指摘
地域コミュニティ・自治会	4.2%	課題	加入率低下（若い人は入らない、メリットが感じられない）、不公平感、高齢化による負担増（回覧板困難）、旧態依然とした運営
		改善提案	全住民加入制度化、デジタル化（回覧板廃止）、不要論（いっそ無くしたら）も一部あり
		その他	地域交流の場（高齢者の孤立防止）、ボランティア機会拡充
その他	4.2%	アンケート自体	設問量（多い、長すぎ）、難易度、回答負担、実効性への疑問（書いても反映されない）、評価（必要だと思う）
		市への愛着	「志摩市が好き」「住みやすい」「自然豊か」「人が温かい」等の好意的意見、協力意思
		個別要望	商業施設（スタバ、コンビニ）誘致、図書館充実、ケーブルTV会社問題、猫対策（避妊、地域猫）、ペット同行避難

10. あなたご自身のことについて

あなたの性別をお答えください。（1つ選択）

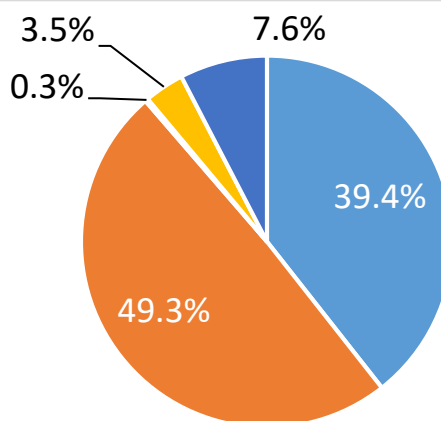
1.男性

2.女性

3.その他

4.回答しない

- 男性
- 女性
- その他
- 回答しない
- 不明・無回答



(N=1,155)

あなたの年齢をお答えください。（1つ選択）

1. 10歳代

2. 20歳代

3. 30歳代

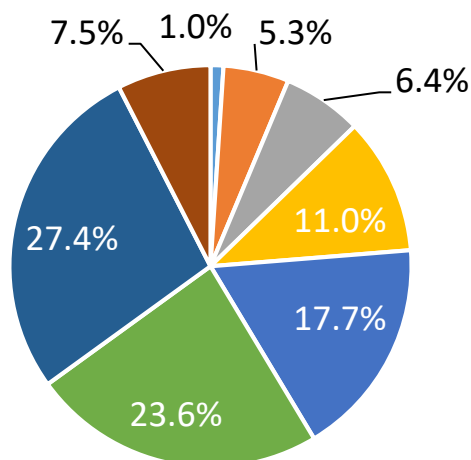
4. 40歳代

5. 50歳代

6. 60歳代

7. 70歳代以上

- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代以上
- 不明・無回答



(N=1,155)

あなたの居住している地区をお答えください。（1つ選択）

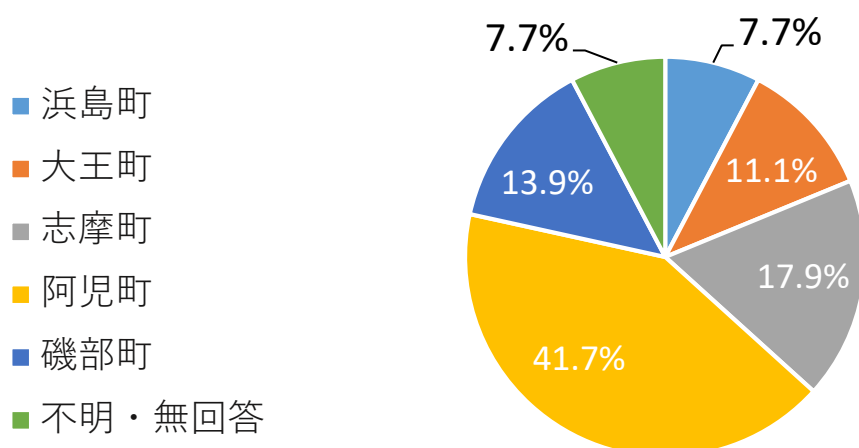
1.浜島町

2.大王町

3.志摩町

4.阿児町

5.磯部町



(N=1,155)

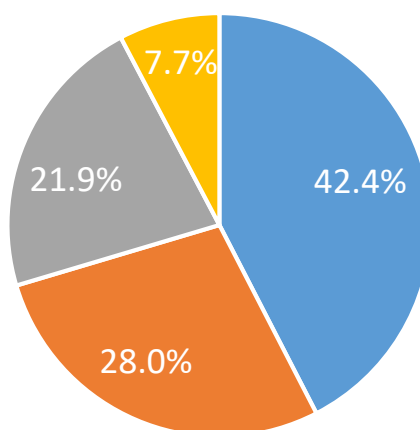
あなたの居住している地区をお答えください。（1つ選択）※志摩市には旧5町を含む

1.生まれてからずっと志摩市に住んでいる

2.志摩市に住んだ後、他の市町村に引っ越し、再び志摩市に戻ってきた

3.他の市町村から、志摩市に引っ越してきた

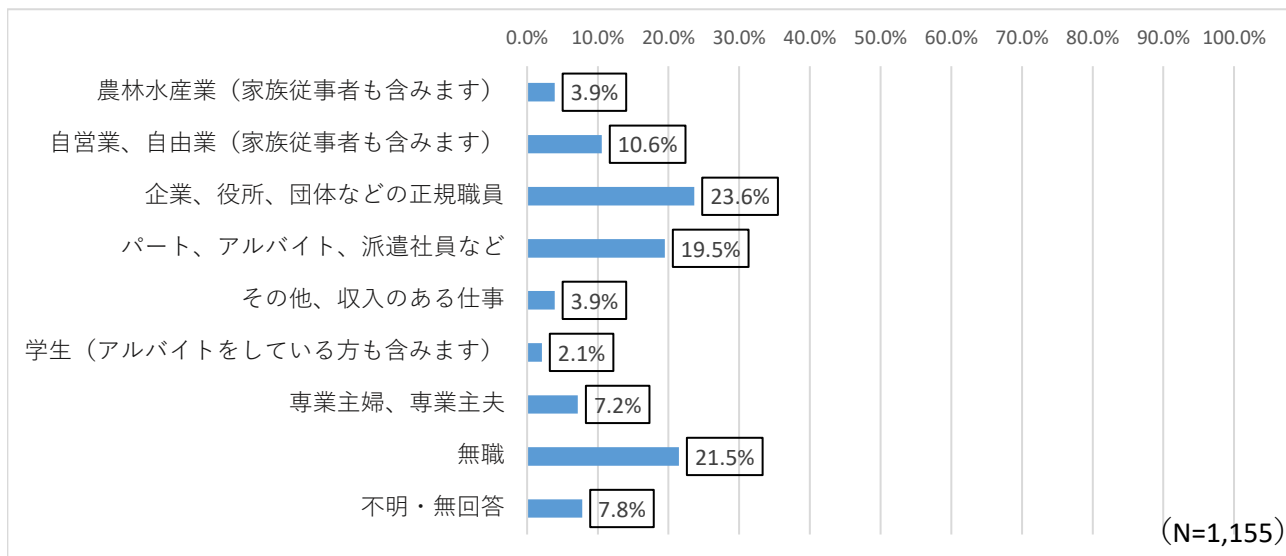
- 生まれてからずっと志摩市に住んでいる
- 志摩市に住んだ後、他の市町村に引っ越し、再び志摩市に戻ってきた
- 他の市町村から、志摩市に引っ越してきた
- 不明・無回答



(N=1,155)

あなたの主な職業は何ですか。（1つ選択）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1.農林水産業（家族従事者も含みます） | 2.自営業、自由業（家族従事者も含みます） |
| 3.企業、役所、団体などの正規職員 | 4.パート、アルバイト、派遣社員など |
| 5.その他、収入のある仕事 | 6.学生（アルバイトをしている方も含みます） |
| 7.専業主婦、専業主夫 | 8.無職 |



あなたの世帯構成はどれにあたりますか。（1つ選択）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1.単身世帯（ひとり暮らしなど） | 2.一世代世帯（夫婦のみなど） |
| 3.二世帯世帯（親と子など） | 4.三世帯世帯（親と子と孫など） |
| 5.その他 | |

